

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2019年12月27日提出
【計算期間】	第5計算期間 (自 2019年4月11日 至 2019年10月10日)
【ファンド名】	四国アライアンス 地域創生ファンド(年2回決算型)
【発行者名】	大和証券投資信託委託株式会社 (2020年4月1日より、大和アセットマネジメント株式会社(予定))
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松下 浩一
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【事務連絡者氏名】	西脇 保宏
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【電話番号】	03-5555-3431
【縦覧に供する場所】	該当ありません。

第一部 【ファンド情報】

第1 【ファンドの状況】

1 【ファンドの性格】

(1) 【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、わが国の株式および海外の債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。一般社団法人投資信託協会による商品分類・属性区分は、次のとおりです。

商品分類	単位型投信・追加型投信	追加型投信
	投資対象地域	内外
	投資対象資産(収益の源泉)	資産複合
属性区分	投資対象資産	その他資産（投資信託証券（資産複合 資産配分固定型（株式、債券）））
	決算頻度	年2回
	投資対象地域	グローバル（含む日本）
	投資形態	ファンド・オブ・ファンズ
	為替ヘッジ	為替ヘッジなし

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

(注1) 商品分類の定義

- ・「追加型投信」...一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行なわれ従来の信託財産とともに運用されるファンド
- ・「内外」...目論見書または投資信託約款（以下「目論見書等」といいます。）において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの
- ・「資産複合」...目論見書等において、株式、債券、不動産投信（リート）およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの

(注2) 属性区分の定義

- ・「その他資産」...組入れている資産
- ・「資産複合 資産配分固定型」...目論見書等において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるもの
- ・「年2回」...目論見書等において、年2回決算する旨の記載があるもの
- ・「グローバル」...目論見書等において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるもの
- ・「ファンド・オブ・ファンズ」...「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズ
- ・「為替ヘッジなし」...目論見書等において、為替のヘッジを行なわない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行なう旨の記載がないもの

商品分類表

単位型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産（収益の源泉）
単位型投信	国内	株式
追加型投信	海外	債券
	内外	不動産投信
		その他資産 ()
		資産複合

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル (含む日本)		
債券 一般	年2回	日本	ファミリー ファンド	あり ()
公債	年4回	北米		
社債	年6回 (隔月)	欧州		
その他債券 クレジット属性 ()	年12回 (毎月)	アジア		
不動産投信	日々	オセアニア		
その他資産 投資信託証券 (資産複合 資産配分固定型 (株式、債券))	その他 ()	中南米	ファンド・オブ・ ファンズ	なし
資産複合 ()		アフリカ		
資産配分固定型		中近東 (中東)		
資産配分変更型		エマージング		

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

商品分類・属性区分の定義について、くわしくは、一般社団法人投資信託協会のホームページ（アドレス <http://www.toushin.or.jp/>）をご参照下さい。

< 信託金の限度額 >

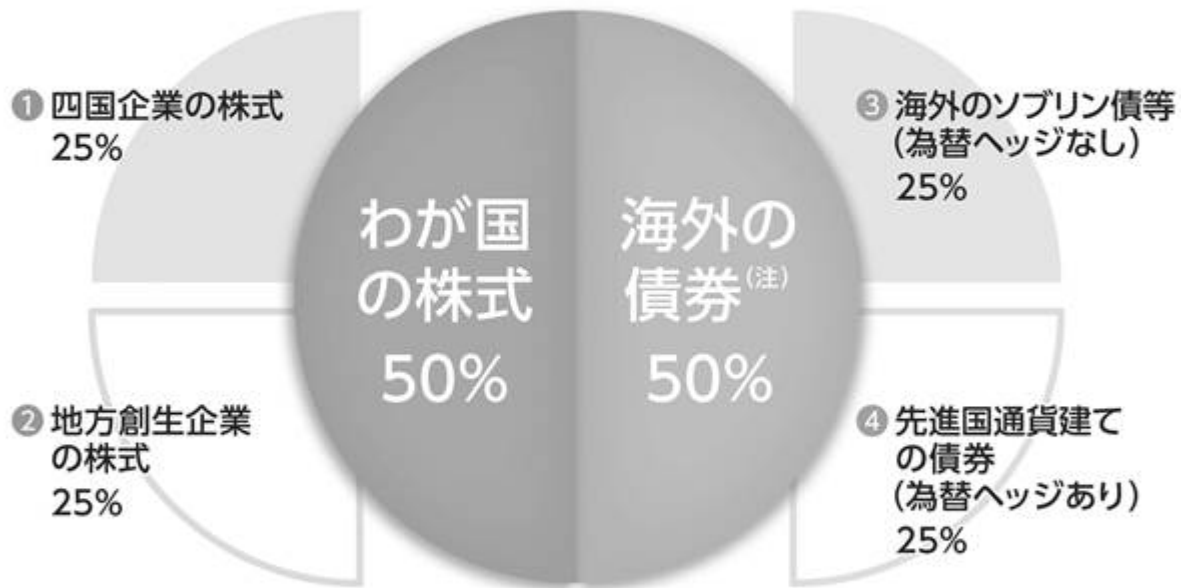
- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、1,000億円を限度として信託金を追加することができます。
- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、限度額を変更することができます。

< ファンドの特色 >

1

四国企業および地方創生企業の株式ならびに海外の債券に投資 します。

- 各資産について、下記の組入比率を目処に投資します。



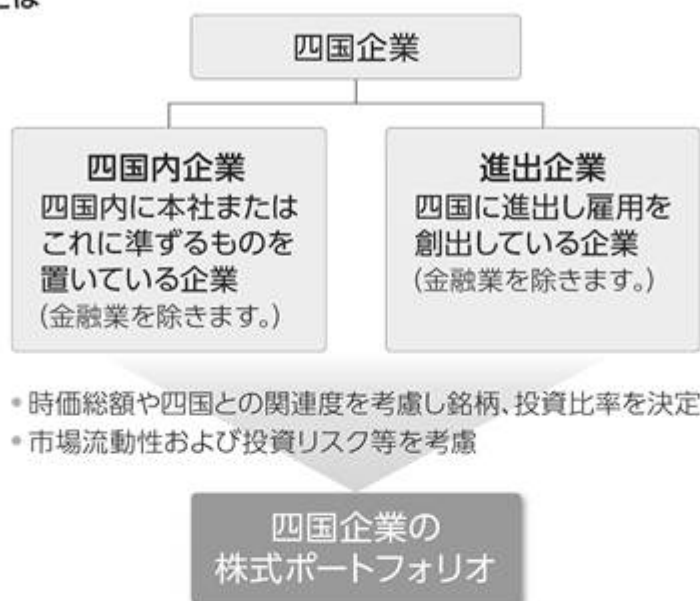
(注) ④先進国通貨建ての債券においては、円建ての債券に投資する場合があります。

※上記はイメージであり、実際の組入比率とは異なります。

[各資産の投資方針]

① 四国企業の株式

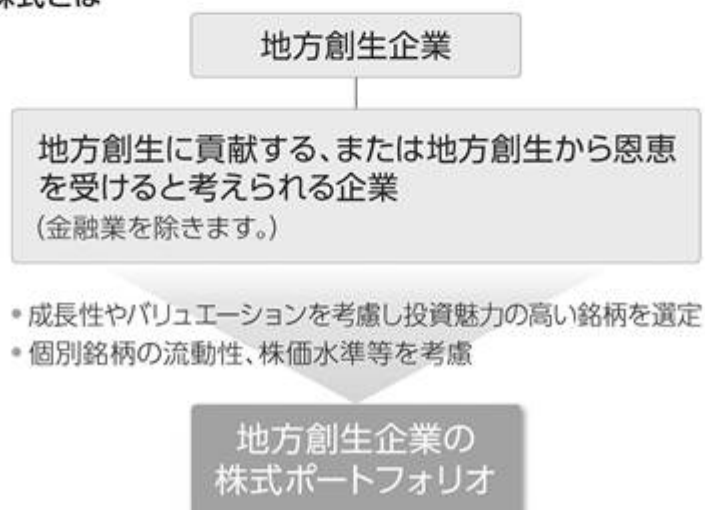
四国企業の株式とは



※「四国企業の株式」部分の運用は四国応援マザーファンドを通じて行ないます。当部分の運用について、くわしくは、「投資対象ファンドの概要 四国応援マザーファンド」をご参照下さい。

② 地方創生企業の株式

地方創生企業の株式とは



※「地方創生企業の株式」部分の運用は地方創生ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)を通じて行ないます。当部分の運用について、くわしくは、「投資対象ファンドの概要 地方創生ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)」をご参照下さい。

③ 海外のソブリン債等(為替ヘッジなし)

「海外のソブリン債等(為替ヘッジなし)」部分の運用にあたっては、海外のソブリン債等(国債、政府機関債、中央政府により発行・保証された債券、国際機関債など)に投資します。

- ドル通貨圏、欧州通貨圏の2通貨圏への投資割合を50%程度ずつとすることを基本とします。(ドル通貨圏内では米ドルへの投資割合を50%程度、欧州通貨圏内ではユーロへの投資割合を50%程度とすることを基本とします。)
- 国債の格付けは、取得時においてA格相当以上(ムーディーズでA3以上またはS&PでA-以上)、国債以外の格付けは、取得時においてAA格相当以上(ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA-以上)とすることを基本とします。
- ポートフォリオの修正デュレーションは5(年)程度から10(年)程度の範囲を基本とします。
- 金利リスク調整のため、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建ての国債先物取引等を利用することがあります。

為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

※「海外のソブリン債等(為替ヘッジなし)」部分の運用はダイワ・外債ソブリン・マザーファンドを通じて行ないません。当部分の運用について、くわしくは、「投資対象ファンドの概要 ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」をご参照下さい。

④ 先進国通貨建ての債券(為替ヘッジあり)

「先進国通貨建ての債券(為替ヘッジあり)」部分の運用にあたっては、先進国通貨建て債券に投資します。

- 先進国通貨とはFTSE世界国債インデックスの構成通貨をいいます。
- 組入れる債券(国債を除きます。)の格付けは、取得時においてBBB格相当以上(R&I、JCR、S&P、フィッチのいずれかでBBB-以上またはムーディーズでBaa3以上)とします。
- 運用の効率化を図るために、債券先物取引等を利用することがあります。

為替変動リスクを低減するための為替ヘッジを行ないません。

※「先進国通貨建ての債券(為替ヘッジあり)」部分の運用はネオ・ヘッジ付債券マザーファンドを通じて行ないません。当部分の運用について、くわしくは、「投資対象ファンドの概要 ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド」をご参照下さい。

FTSE世界国債インデックスについて

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

【ご参考】

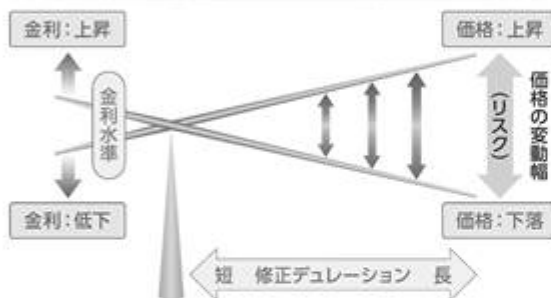
債券の格付けについて

信用度	ムーディーズの場合	R&I, JCR, S&P, フィッチの場合
高い	Aaa	AAA
	Aa { Aa1, Aa2, Aa3 }	AA { AA+, AA, AA- }
	A { A1, A2, A3 }	A { A+, A, A- }
	Baa { Baa1, Baa2, Baa3 }	BBB { BBB+, BBB, BBB- }
	Ba	BB
	B	B
	⋮	⋮
低い		

債券の格付けとは、償還時までの債券の元本、利息の支払いの確実性に関する将来の見通しを示すもので、ムーディーズ(Moody's)、格付投資情報センター(R&I)、日本格付研究所(JCR)、S&Pグローバル・レーティング(S&P)、フィッチ・レーティングス(Fitch)などといった格付会社が各債券の格付けを行なっています。付与された格付けは、随時見直しが行なわれ、発行体の財務状況の変化などによって格上げや格下げが行なわれることがあります。

修正デュレーションについて

金利変動と修正デュレーションの関係(イメージ)



- 修正デュレーションとは、「金利が変動したときに債券価格がどのくらい変化するか」を示す指標です。
- 修正デュレーションが長いほど、金利が変動したときの債券価格の変動(ブレ幅)が大きくなります。

ファンドの仕組み

- 当ファンドは、以下の4本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- 投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、四国企業の株式、地方創生企業の株式、海外のソブリン債等および先進国通貨建て債券に投資します。



※投資対象ファンドについて、くわしくは、「投資対象ファンドの概要」をご参照下さい。

- 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想される時、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.の運用が行なわれないことがあります。



毎年4月、10月の各10日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、 収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第1計算期間は、2017年10月10日(休業日の場合翌営業日)までとします。

〔分配方針〕

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ② 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

< 投資対象ファンドの概要 >

1. 四国応援マザーファンド

基本方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。以下同じ。）
投資態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主として、わが国の金融商品取引所上場株式の中から、四国企業（金融業を除きます。）に投資し、信託財産の成長をめざします。 2. 四国企業とは、四国内に本社またはこれに準ずるものを置いている企業（以下「四国内企業」といいます。）、および四国に進出し雇用を創出している企業（以下「進出企業」といいます。）とします。 3. 四国企業の株式への投資のうち個々の銘柄への投資については、市場流動性および投資リスク等を考慮します。 4. 四国内企業の株式への投資については、それぞれの時価総額に応じた投資比率（上限を設ける場合があります。5.においても同じ）とすることを基本とします。 5. 進出企業の株式への投資については、時価総額と四国内従業員数など四国との関連度を考慮して銘柄選定を行ない、それぞれの時価総額に応じた比率に一定の値を乗じた投資比率で組入れを行なうことを基本とします。 6. 株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 7. 運用の効率化を図るため、わが国の株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 8. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

信託期間	無期限（2017年7月28日当初設定）
決算日	毎年4月10日（休業日の場合翌営業日）
運用管理費用 （信託報酬）	かかりません。
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

2. 地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）

基本方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	地方創生マザーファンド（以下マザーファンドといいます。）の受益証券
投資態度	<p>1. 主として、マザーファンドの受益証券を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式の中から、地方創生企業に投資し、信託財産の成長をめざします。</p> <p>地方創生企業とは、地方創生に貢献する、または地方創生から恩恵を受けると考えられる企業（金融業を除きます。）とします。</p> <p>2. マザーファンドの運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ) 地方創生企業の株式を投資候補銘柄とします。</p> <p>ロ) 投資候補銘柄の中から、成長性やバリュエーションを考慮し、投資魅力の高い銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ニ) 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行ないます。</p> <p>3. マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>4. マザーファンドにおいて、運用の効率化を図るため、わが国の株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、マザーファンドにおいて、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> <p>5. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p> <p>6. 当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズのみを取得させることを目的とするものです。</p>

マザーファンドの 投資態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主として、わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます。)の中から、地方創生企業に投資し、信託財産の成長をめざします。地方創生企業とは、地方創生に貢献する、または地方創生から恩恵を受けると考えられる企業(金融業を除きます。)とします。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針を基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> イ) 地方創生企業の株式を投資候補銘柄とします。 ロ) 投資候補銘柄の中から、成長性やバリュエーションを考慮し、投資魅力の高い銘柄を選定します。 ハ) 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。 ニ) 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行いません。 3. 株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 4. 運用の効率化を図るため、わが国の株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 5. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。
信託期間	2027年4月8日まで(2017年7月31日当初設定)
決算日	3月、9月の各24日(休業日の場合翌営業日)
運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し、年率0.583%(税抜0.53%)を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)の他に、信託事務の諸費用、監査報酬、およびその他諸費用がかかります。
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社
受託会社	みずほ信託銀行株式会社

3. ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

基本方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の公社債等

投資態度	<p>1. 主として海外のソブリン債等(国債、政府機関債、中央政府により発行・保証された債券、国際機関債など)に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>2. 海外のソブリン債等への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ) 米ドル、カナダ・ドルおよびオーストラリア・ドル等をドル通貨圏、ユーロ、ポンド、北欧通貨および東欧通貨等を欧州通貨圏とし、2通貨圏への投資割合をそれぞれ信託財産の純資産総額の50%程度ずつとすることを基本とします。</p> <p>北欧通貨：スウェーデン・クローネ、デンマーク・クローネ、ノルウェー・クローネ</p> <p>東欧通貨：ハンガリー・フォリント、ポーランド・ズロチ、チェコ・コルナ等</p> <p>ロ) ドル通貨圏内では米ドルへの投資割合を50%程度、欧州通貨圏内ではユーロへの投資割合を50%程度とすることを基本とします(ただし、欧州通貨圏の投資対象通貨がユーロに統合される場合は、統合される通貨で実際に投資されている比率をユーロで実際に投資されている比率に加算した比率に基づいて、配分比率を見直します。)。</p> <p>ハ) 国債については、取得時においてA格相当以上(ムーディーズでA3以上またはS&PでA - 以上)とすることを基本とします。国債を除く投資対象の格付けは、取得時においてAA格相当以上(ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA - 以上)とすることを基本とします。</p> <p>ニ) ポートフォリオの修正デュレーションは5(年)程度から10(年)程度の範囲を基本とします。</p> <p>ホ) 金利リスク調整のため、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>3. 為替については、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建資産の投資比率合計を、信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p> <p>4. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p>
信託期間	無期限(2005年4月26日当初設定)
決算日	4月、10月の各10日(休業日の場合翌営業日)
運用管理費用 (信託報酬)	かかりません。
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

4. ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド

基本方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	先進国通貨建て債券

投資態度	<p>1. 主として、先進国通貨建て債券に投資し、為替変動リスクを低減するための為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>2. 組入れる債券（国債を除きます。）の格付けは、取得時においてBBB格相当以上（R&I、JCR、S&P、フィッチのいずれかでBBB-以上またはムーディーズでBaa3以上）とします。</p> <p>当ファンドにおいて先進国通貨とはFTSE世界国債インデックスの構成通貨をいいます。</p> <p>3. 対円で為替ヘッジを行なうことを前提に、各国の長短金利の状況、信用環境、流動性等を考慮しポートフォリオを構築します。</p> <p>4. 債券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>5. 運用の効率化を図るため、債券先物取引等を利用することがあります。このため、債券の組入総額および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。また、債券先物取引等の売建玉の時価総額が債券の組入総額を超えることがあります。</p> <p>6. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p>
信託期間	無期限（2014年11月14日当初設定）
決算日	毎年6月15日（休業日の場合翌営業日）
運用管理費用 （信託報酬）	かかりません。
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

(2) 【ファンドの沿革】

2017年7月28日

信託契約締結、当初設定、運用開始

(3) 【ファンドの仕組み】

受益者	お申込者
	収益分配金（注）、償還金など お申込金（ 3 ）

お取扱窓口	販売会社	<p>受益権の募集・販売の取扱い等に関する委託会社との契約（ 1 ）に基づき、次の業務を行ないません。</p> <p>受益権の募集の取扱い 一部解約請求に関する事務 収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務 など</p>
1	収益分配金、償還金など お申込金（ 3 ）	
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社	<p>当ファンドにかかる証券投資信託契約（以下「信託契約」といいます。）（ 2 ）の委託者であり、次の業務を行ないません。</p> <p>受益権の募集・発行 信託財産の運用指図 信託財産の計算 運用報告書の作成 など</p>
運用指図	2 損益 信託金（ 3 ）	
受託会社	<p>三井住友信託銀行株式会社 再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社</p>	<p>信託契約（ 2 ）の受託者であり、次の業務を行ないません。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。また、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。</p> <p>委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分 信託財産の計算 など</p>
損益 投資		
投資対象	投資対象ファンドの受益証券 など	

（注）「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は自動的に再投資されます。

- 1：受益権の募集の取扱い、一部解約請求に関する事務、収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務の内容等が規定されています。
- 2：「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づいて、あらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容に基づき締結されます。証券投資信託の運営に関する事項（運用方針、委託会社および受託会社の業務、受益者の権利、信託報酬、信託期間等）が規定されています。
- 3：販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

委託会社および受託会社は、それぞれの業務に対する報酬を信託財産から収受します。また、販売会社には、委託会社から業務に対する代行手数料が支払われます。

ファンドの仕組み

- 当ファンドは、以下の4本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- 投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、四国企業の株式、地方創生企業の株式、海外のソブリン債等および先進国通貨建て債券に投資します。



< 委託会社の概況（2019年9月末日現在） >

- ・資本金の額 151億7,427万2,500円
- ・沿革
 - 1959年12月12日 設立登記
 - 1960年 2月17日 「証券投資信託法」に基づく証券投資信託の委託会社の免許取得
 - 1960年 4月 1日 営業開始
 - 1985年11月 8日 投資助言・情報提供業務に関する兼業承認を受ける。
 - 1995年 5月31日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づき投資顧問業の登録を受ける。
 - 1995年 9月14日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づく投資一任契約にかかる業務の認可を受ける。
 - 2007年 9月30日 「金融商品取引法」の施行に伴い、同法第29条の登録を受けたものとみなされる。
(金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第352号)

・大株主の状況

名称	住所	所有 株式数	比率
株式会社大和証券グループ本社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号	株 2,608,525	% 100.00

2 【投資方針】

(1) 【投資方針】

主要投資対象

次の受益証券（振替受益権を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とします。

- イ．四国応援マザーファンドの受益証券
- ロ．地方創生ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）の受益証券
- ハ．ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの受益証券

二．ネオ・ヘッジ付債券マザーファンドの受益証券

投資態度

- 主として、各投資対象ファンドの受益証券を通じて、わが国の株式および海外の債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
- 各主要投資対象ファンドの受益証券については、下記の組入比率を目処に投資を行ないます。
 四国応援マザーファンドの受益証券.....信託財産の純資産総額の25%
 地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）の受益証券
信託財産の純資産総額の25%
 ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの受益証券.....信託財産の純資産総額の25%
 ネオ・ヘッジ付債券マザーファンドの受益証券.....信託財産の純資産総額の25%
- 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

<投資先ファンドについて>

投資先ファンドの選定の方針は次のとおりです。

投資先ファンドの名称	地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）
選定の方針	主として、わが国の株式の中から地方創生に貢献する、または地方創生から恩恵を受けると考えられる企業（金融業を除く。）に投資することにより信託財産の成長をめざすファンドである。

くわしくは「1 ファンドの性格（1）ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。

(2) 【投資対象】

当ファンドにおいて投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

- 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）
 イ．有価証券
 ロ．約束手形
 ハ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの
- 次に掲げる特定資産以外の資産
 イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として、大和証券投資信託委託株式会社を委託者とし、三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された次の1．から3．までに掲げる親投資信託の受益証券、次の4．に掲げる証券投資信託の受益証券（振替受益権を含みます。）、ならびに次の5．から7．までに掲げる有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

- 四国応援マザーファンドの受益証券
- ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの受益証券

3. ネオ・ヘッジ付債券マザーファンドの受益証券
4. 地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）の受益証券
5. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
6. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前5.の証券の性質を有するもの
7. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、前1.から前4.までの受益証券を「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形

前 の規定にかかわらず、当ファンドの設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を、前 に掲げる金融商品により運用することを指図することができます。

<投資先ファンドについて>

ファンドの純資産総額の10%を超えて投資する可能性がある投資先ファンドの内容は次のとおりです。

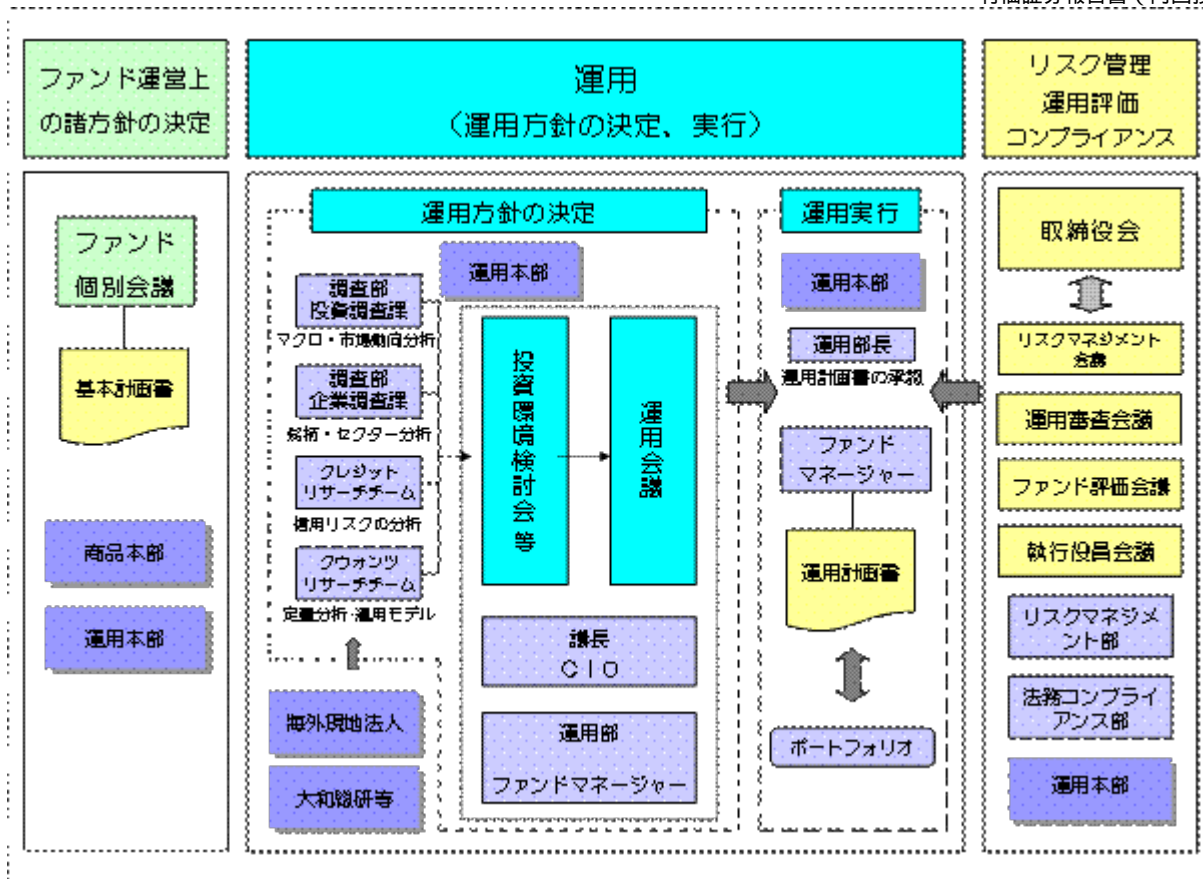
投資先ファンドの名称	地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）
運用の基本方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要な投資対象	地方創生マザーファンドの受益証券を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式の中から、地方創生企業に投資します。
委託会社の名称	大和証券投資信託委託株式会社

くわしくは「1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。

(3) 【運用体制】

運用体制

ファンドの運用体制は、以下のとおりとなっています。



運用方針の決定にかかる過程

運用方針は次の過程を経て決定しております。

イ．基本計画書の策定

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を経営会議の分科会であるファンド個別会議において審議・決定します。

ロ．投資環境の検討

運用最高責任者であるCIO (Chief Investment Officer) が議長となり、原則として月1回投資環境検討会を開催し、投資環境について検討します。

ハ．基本的な運用方針の決定

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ニ．運用計画書の作成・承認

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

職務権限

ファンド運用の意思決定機能を担う運用本部において、各職位の主たる職務権限は、社内規則によって、次のように定められています。

イ．CIO (Chief Investment Officer) (1名)

運用最高責任者として、次の職務を遂行します。

- ・ファンド運用に関する組織運営
- ・ファンドマネージャーの任命・変更

- ・運用会議の議長として、基本的な運用方針の決定
- ・各ファンドの分配政策の決定
- ・代表取締役に対する随時的確な状況報告
- ・その他ファンドの運用に関する重要事項の決定

ロ．Deputy-CIO（0～5名程度）

CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

ハ．インベストメント・オフィサー（0～5名程度）

CIOおよびDeputy-CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

ニ．運用部長（各運用部に1名）

ファンドマネージャーが策定する運用計画を承認します。

ホ．ファンドマネージャー

ファンドの運用計画を策定して、これに沿ってポートフォリオを構築します。

ファンド評価会議、運用審査会議、リスクマネジメント会議および執行役員会議

次のとおり各会議体において必要な報告・審議等を行なっています。これら会議体の事務局となる内部管理関連部門の人員は30～40名程度です。

イ．ファンド評価会議

運用実績・運用リスクの状況について、分析・検討を行ない、運用部にフィードバックします。

ロ．運用審査会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用実績の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

ハ．リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

ニ．執行役員会議

経営会議の分科会として、法令等の遵守状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

受託会社に対する管理体制

受託会社に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行なっています。また、受託会社より内部統制の整備および運用状況の報告書を受け取っています。

上記の運用体制は2019年9月末日現在のものであり、変更となる場合があります。

(4) 【分配方針】

分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

留保益は、前(1)に基づいて運用します。

(5) 【投資制限】

株式（信託約款）

株式への直接投資は、行ないません。

投資信託証券（信託約款）

投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。

外貨建資産（信託約款）

外貨建資産への直接投資は、行ないません。

信用リスク集中回避（信託約款）

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

資金の借入れ（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。

ロ．一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から、信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、または解約代金の入金日までの間、もしくは償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金借入額は、借入指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。

ハ．収益分配金の再投資にかかる借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

ニ．借入金の利息は信託財産中から支弁します。

< 参 考 > 投資対象ファンドについて

下記以外の項目（「基本方針」、「投資態度」、「運用管理費用（信託報酬）」等）については、「1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。

1. 四国応援マザーファンド

主な投資制限	<p>株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。</p> <p>投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資は、行ないません。</p>
--------	--

収益分配方針	信託財産から生ずる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配は行ないません。
販売手数料	ありません。
償還条項	信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。

2．地方創生ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

主な投資制限	<p>マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>株式への実質投資割合には、制限を設けません。</p> <p>新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。</p> <p>投資信託証券（マザーファンドの受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資は、行ないません。</p>
収益分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みません。）等とします。</p> <p>原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>留保益は、上記「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。</p>
販売手数料	ありません。
償還条項	受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。

3．ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

<p>主な投資制限</p>	<p>株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限ります。）の行使等により取得したものに限りします。</p> <p>株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>
<p>収益分配方針</p>	<p>信託財産から生ずる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配は行ないません。</p>
<p>販売手数料</p>	<p>ありません。</p>
<p>償還条項</p>	<p>信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。</p>

4. ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド

<p>主な投資制限</p>	<p>株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使等により取得したものに限りします。</p> <p>株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>
<p>収益分配方針</p>	<p>信託財産から生ずる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配は行ないません。</p>
<p>販売手数料</p>	<p>ありません。</p>
<p>償還条項</p>	<p>信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。</p>

3 【投資リスク】

(1) 価額変動リスク

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式、公社債など値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。委託会社の指図に基づく行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

投資信託は預貯金とは異なります。

投資者のみなさまにおかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。

株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります（発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。）。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

当ファンドは時価総額が小さい企業の株式に投資することがあります。時価総額が小さい企業の株式については、株式市場全体の動きと比較して株価が大きく変動するリスクがあり、当ファンドの基準価額に影響する可能性があります。

公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）

〈金利変動による価格変化のイメージ図〉



※上図はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します（値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等により異なります。）。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が財政難、経営不安等により、利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（債務不履行）、またはできなくなることが予想される場合には、大きく下落します（利息および償還金が支払われないこともあります。）。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

外国証券への投資に伴うリスク

イ．為替リスク

〈為替変動のイメージ図〉



※上図はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

＜ファンドの特色＞1. の外貨建て資産については、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。そのため基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

＜ファンドの特色＞1. の外貨建ての資産については、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行ないません。ただし、影響をすべて排除できるわけではありません。為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

ロ．カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となる場合があります。

その他

イ．解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため組入証券を売却しなければならないことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押し下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

ロ．ファンド資産をコール・ローン、譲渡性預金証書等の短期金融資産で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります（信用リスク）。この場合、基準価額が下落する要因となります。

(2) 換金性等が制限される場合

通常と異なる状況において、お買付け・ご換金に制限を設けることがあります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、お買付け、ご換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けたお買付けの申込みを取消すことがあります。

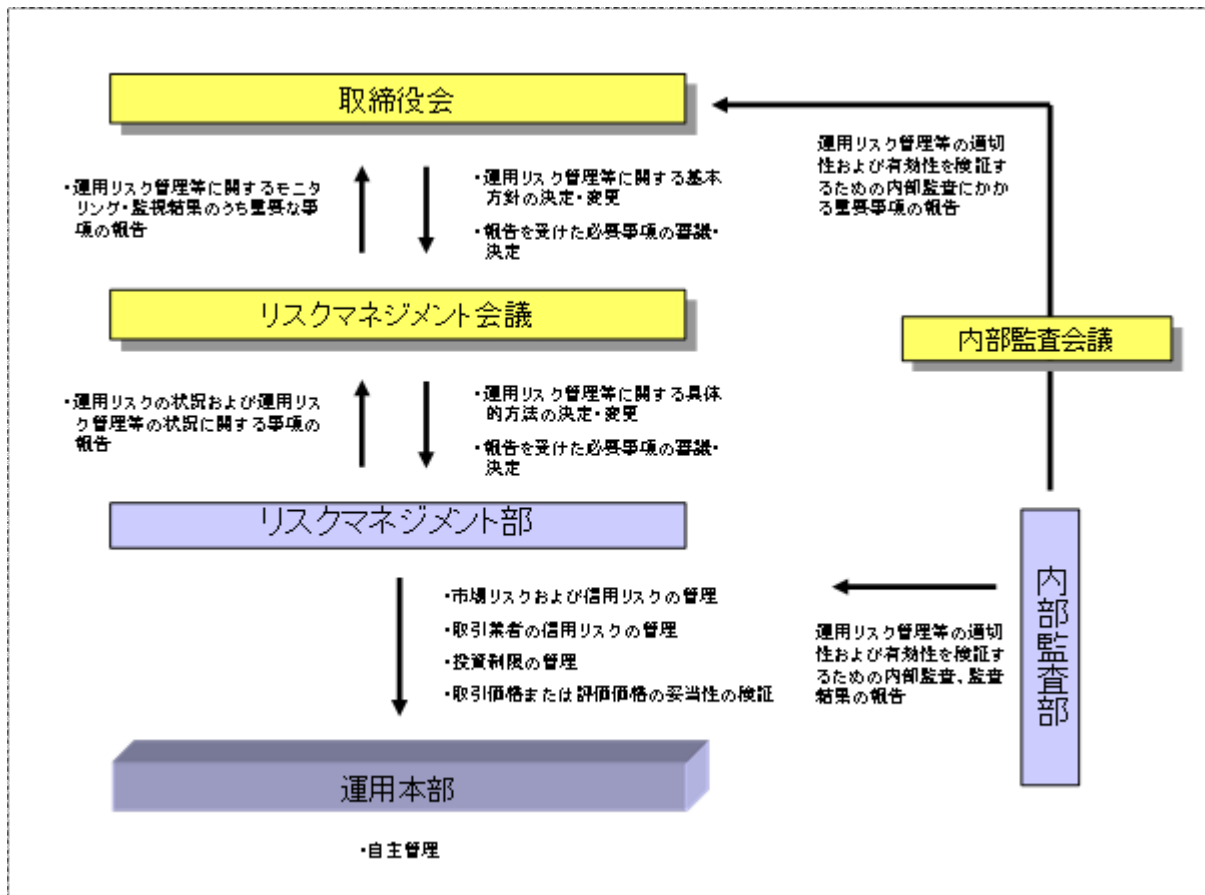
ご換金の申込みの受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日のご換金の申込みを撤回することができます。ただし、受益者がそのご換金の申込みを撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にご換金の申込みを受け付けたものとして取扱います。

(3) その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

(4) リスク管理体制

運用リスク管理体制（ ）は、以下のとおりとなっています。

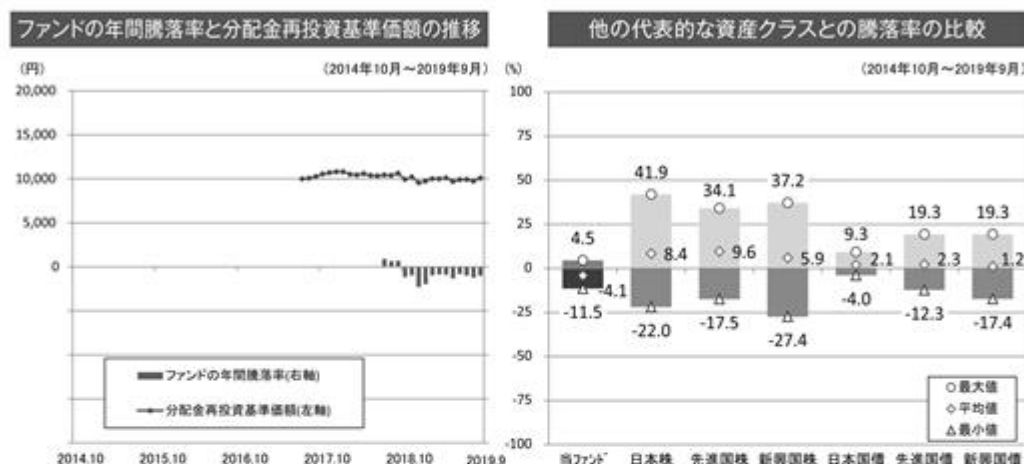


流動性リスクに対する管理体制

当社では、運用リスクのうち、大量の解約・換金によって必要となる資金の確保のために合理的な条件での取引が困難となるリスク、および市場の混乱、取引所における休業、取引の停止等により市場において取引ができないまたは合理的な条件での取引が困難となるリスクを「流動性リスク」とし、当社の運用する信託財産における流動性リスクの防止および流動性リスク発生時における円滑な事務遂行を目的とした事前対策、ならびに流動性リスク発生時における対応策（コンティンジェンシー・プラン）を定めています。

参考情報

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。右のグラフは過去5年間における年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。また左のグラフはファンドの過去5年間における年間騰落率の推移を表示しています。



※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
新興国債：JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド(円ベース)

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

4 【手数料等及び税金】

(1) 【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、3.3%（税抜3.0%）となっています。具体的な手数料の料率等については、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）

申込手数料には、消費税等が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

申込手数料は、お買付時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

(2) 【換金(解約)手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

(3) 【信託報酬等】

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年率0.9955%（税抜0.905%）を乗じて得た額とします。信託報酬は、毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を、信託報酬支弁のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる委託会社、販売会社、受託会社への配分については、次のとおりです。

委託会社	販売会社	受託会社
年率0.375% (税抜)	年率0.50% (税抜)	年率0.03% (税抜)

上記の信託報酬の配分には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

前 の販売会社への配分は、販売会社の行なう業務に対する代行手数料であり、委託会社が一旦信託財産から収受した後、販売会社に支払われます。

投資対象ファンドの信託報酬等については、「1 ファンドの性格 (1)ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」の<投資対象ファンドの概要>をご参照下さい。なお、当ファンドの信託報酬に投資対象ファンドの信託報酬を加えた、投資者が実質的に負担する信託報酬率は、年率1.14125%（税込）程度です。

信託報酬を対価とする役務の内容は、配分先に応じて、それぞれ以下のとおりです。

委託会社：ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価

販売会社：運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価

受託会社：運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

(4) 【その他の手数料等】

信託財産において資金借入れを行なった場合、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査報酬ならびに当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産に属する有価証券等に関連して発生した訴訟係争物たる権利その他の権利に基づいて益金が生じた場合、当該支払いに際して特別に必要となる費用（データ処理費用、郵送料等）は、受益者の負担とし、当該益金から支弁します。

信託財産で有価証券の売買を行なう際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料にかかる消費税等に相当する金額、信託財産に属する資産を外国で保管する場合の費用は、信託財産中より支弁します。

（ ）「その他の手数料等」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

< 投資対象ファンドより支弁する手数料等 >

各ファンドの投資対象等に応じて、信託財産に関する租税、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を支弁します。その他、マザーファンドを除く投資対象ファンドからは監査報酬を支弁します。

(5) 【課税上の取扱い】

課税上は株式投資信託として取扱われます。

個人の投資者に対する課税

イ．収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として課税され、20%（所得税15%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。

ロ．解約金および償還金に対する課税

一部解約時および償還時の差益（解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、20%（所得税15%および地方税5%）の税率により、申告分離課税が適用されます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。

ハ．損益通算について

一部解約時および償還時の損失については、確定申告により、上場株式等（特定公社債、公募公社債投資信託を含みます。）の譲渡益および償還差益と相殺することができ、申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得および利子所得との損益通算も可能となります。また、翌年以後3年間、上場株式等の譲渡益・償還差益および配当等・利子から繰越控除することができます。一部解約時および償還時の差益については、他の上場株式等の譲渡損および償還差損との相殺が可能となります。

なお、特定口座にかかる課税上の取扱いにつきましては、販売会社にお問合わせ下さい。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。満20歳以上の方を対象としたNISAをご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります（他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。）。また、20歳未満の方を対象とした非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります（他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。）。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方となります。当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。

法人の投資者に対する課税

法人の投資者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として課税され、15%（所得税15%）の税率で源泉徴収され法人の受取額となります。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）には課税されません。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）となります。なお、益金不算入制度の適用はありません。

源泉徴収された税金は法人税額から控除されます。

<注1> 個別元本について

投資者ごとの信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は含まれません。）が当該投資者の元本（個別元本）にあたります。

投資者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該投資者が追加信託を行なうつど当該投資者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。

投資者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本となります。

<注2> 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（投資者ごとの元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

投資者が収益分配金を受取る際、イ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本と同額の場合または当該投資者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、ロ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

（ ）2020年1月1日以降の分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

（ ）上記は、2019年9月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

（ ）課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めしま

5 【運用状況】

(1) 【投資状況】（2019年9月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	679,009,810	25.01
内 日本	679,009,810	25.01
親投資信託受益証券	2,014,935,633	74.20
内 日本	2,014,935,633	74.20
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	21,443,090	0.79
純資産総額	2,715,388,533	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 【投資資産】（2019年9月30日現在）

【投資有価証券の主要銘柄】

イ．主要銘柄の明細

銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1 地方創生ファンド	日本	投資信託受益証券	708,039,427	0.9980 706,688,317	0.9590 679,009,810	25.01
2 ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	579,529,801	1.1011 638,120,285	1.1684 677,122,619	24.94
3 ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	394,801,343	1.7043 672,898,804	1.7043 672,859,928	24.78
4 四国応援マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	658,956,582	1.0278 677,295,444	1.0091 664,953,086	24.49

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
投資信託受益証券	25.01%

親投資信託受益証券	74.20%
合計	99.21%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (2017年10月10日)	2,903,924,738	2,923,860,479	1.0196	1.0266
第2計算期間末 (2018年4月10日)	2,763,584,653	2,776,928,697	1.0355	1.0405
2018年9月末日	3,079,219,807	-	1.0484	-
第3計算期間末 (2018年10月10日)	2,972,171,917	2,972,171,917	1.0231	1.0231
10月末日	2,860,506,901	-	0.9815	-
11月末日	2,950,638,274	-	1.0064	-
12月末日	2,750,012,647	-	0.9441	-
2019年1月末日	2,808,567,839	-	0.9621	-
2月末日	2,869,525,565	-	0.9883	-
3月末日	2,842,712,839	-	0.9865	-
第4計算期間末 (2019年4月10日)	2,865,680,564	2,865,680,564	0.9991	0.9991
4月末日	2,839,130,673	-	0.9981	-
5月末日	2,711,351,678	-	0.9584	-
6月末日	2,762,348,837	-	0.9787	-
7月末日	2,742,303,632	-	0.9809	-

8月末日	2,656,279,229	-	0.9621	-
9月末日	2,715,388,533	-	0.9958	-

【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第1計算期間	0.0070
第2計算期間	0.0050
第3計算期間	0.0000
第4計算期間	0.0000

【収益率の推移】

	収益率(%)
第1計算期間	2.7
第2計算期間	2.0
第3計算期間	1.2
第4計算期間	2.3

(4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第1計算期間	825,977,678	99,528,459
第2計算期間	777,152,707	956,306,916
第3計算期間	445,709,406	209,473,558
第4計算期間	109,480,514	146,350,330

(注) 当初設定数量は2,121,513,819口です。

(参考) マザーファンド

四国応援マザーファンド

(1) 投資状況 (2019年9月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株式	2,200,652,130	98.56
内 日本	2,200,652,130	98.56
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	32,236,913	1.44

純資産総額	2,232,889,043	100.00
-------	---------------	--------

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	14,292,000	0.64
内 日本	14,292,000	0.64

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(2) 投資資産 (2019年9月30日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ. 主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	業種	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	ユニ・チャーム	日本	株式	化学	58,600	3,626.26 212,499,441	3,420.00 200,412,000	8.98
2	三浦工業	日本	株式	機械	66,400	2,659.86 176,615,022	3,010.00 199,864,000	8.95
3	三菱電機	日本	株式	電気機器	118,900	1,516.46 180,307,625	1,432.50 170,324,250	7.63
4	ジャストシステム	日本	株式	情報・通信業	35,600	2,748.46 97,845,364	4,090.00 145,604,000	6.52
5	四国電力	日本	株式	電気・ガス業	123,500	1,289.85 159,296,912	1,019.00 125,846,500	5.64
6	大塚ホールディングス	日本	株式	医薬品	30,900	4,228.97 130,675,217	4,040.00 124,836,000	5.59
7	大王製紙	日本	株式	パルプ・紙	85,100	1,339.04 113,952,726	1,372.00 116,757,200	5.23
8	富士通	日本	株式	電気機器	11,500	7,923.72 91,122,869	8,655.00 99,532,500	4.46
9	イオン	日本	株式	小売業	48,300	2,087.90 100,845,672	1,980.50 95,658,150	4.28
10	タダノ	日本	株式	機械	71,700	1,178.10 84,470,209	1,029.00 73,779,300	3.30

11	東レ	日本	株式	繊維製 品	90,300	765.79 69,151,695	802.10 72,429,630	3.24
12	住友鉱山	日本	株式	非鉄金 属	16,100	3,491.48 56,212,867	3,347.00 53,886,700	2.41
13	技研製作所	日本	株式	機械	15,400	3,593.08 55,333,508	3,420.00 52,668,000	2.36
14	住友化学	日本	株式	化学	91,600	529.79 48,529,482	485.00 44,426,000	1.99
15	日立化成	日本	株式	化学	11,500	2,585.18 29,729,681	3,525.00 40,537,500	1.82
16	フジ	日本	株式	小売業	21,200	1,873.22 39,712,368	1,876.00 39,771,200	1.78
17	大日本住友製薬	日本	株式	医薬品	22,000	2,570.23 56,545,240	1,775.00 39,050,000	1.75
18	四国化成	日本	株式	化学	32,600	1,164.56 37,964,731	1,131.00 36,870,600	1.65
19	王子ホールディングス	日本	株式	パルプ・ 紙	56,200	689.61 38,756,239	504.00 28,324,800	1.27
20	クラレ	日本	株式	化学	19,600	1,447.55 28,372,115	1,327.00 26,009,200	1.16
21	電源開発	日本	株式	電気・ガ ス業	10,100	2,594.31 26,202,571	2,465.00 24,896,500	1.11
22	ジェイテクト	日本	株式	機械	19,000	1,431.97 27,207,431	1,239.00 23,541,000	1.05
23	川崎重工業	日本	株式	輸送用 機器	9,200	2,710.51 24,936,768	2,392.00 22,006,400	0.99
24	住友重機械	日本	株式	機械	6,800	3,811.67 25,919,404	3,200.00 21,760,000	0.97
25	三菱マテリアル	日本	株式	非鉄金 属	7,300	3,039.08 22,185,288	2,915.00 21,279,500	0.95
26	太平洋セメント	日本	株式	ガラス・ 土石製 品	7,000	3,861.00 27,027,002	2,891.00 20,237,000	0.91
27	井関農機	日本	株式	機械	12,700	1,667.22 21,173,760	1,467.00 18,630,900	0.83
28	ニホンフラッシュ	日本	株式	その他 製品	6,900	2,229.28 15,382,088	2,574.00 17,760,600	0.80
29	丸一鋼管	日本	株式	鉄鋼	5,200	3,210.57 16,695,012	2,853.00 14,835,600	0.66

30	アオイ電子	日本	株式	電気機器	6,600	2,467.68 16,286,700	2,197.00 14,500,200	0.65
----	-------	----	----	------	-------	------------------------	------------------------	------

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
株式	98.56%
合計	98.56%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

業種	投資比率
水産・農林業	0.23%
鉱業	0.10%
建設業	1.75%
食料品	0.16%
繊維製品	3.37%
パルプ・紙	7.46%
化学	17.35%
医薬品	7.34%
ゴム製品	0.36%
ガラス・土石製品	1.56%
鉄鋼	0.72%
非鉄金属	3.37%
機械	17.63%
電気機器	13.21%
輸送用機器	1.29%
その他製品	1.54%
電気・ガス業	6.75%
情報・通信業	7.18%
卸売業	0.31%
小売業	6.32%
不動産業	0.40%
サービス業	0.14%
合計	98.56%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
株価指数先物 取引	日本	ミニTOPIX先物 2019年12 月	買建	9	14,400,122	14,292,000	0.64%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(参考) 投資信託証券

地方創生ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

(1) 投資状況（2019年9月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	2,257,885,626	99.90
内 日本	2,257,885,626	99.90
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	2,274,980	0.10
純資産総額	2,260,160,606	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（2019年9月30日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1 地方創生マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	1,762,320,970	1.2848 2,264,229,983	1.2812 2,257,885,626	99.90

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
親投資信託受益証券	99.90%
合計	99.90%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

参考情報 マザーファンド

地方創生マザーファンド

(1) 投資状況（2019年9月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株式	3,547,956,100	95.37
内 日本	3,547,956,100	95.37
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	172,087,956	4.63
純資産総額	3,720,044,056	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（2019年9月30日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

銘柄名	地域	種類	業種	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1 村田製作所	日本	株式	電気機 器	23,100	5,338.33 123,315,500	5,185.00 119,773,500	3.22
2 田岡化学	日本	株式	化学	19,800	4,466.59 88,438,638	6,040.00 119,592,000	3.21

3	旭有機材	日本	株式	化学	84,500	1,605.47 135,662,681	1,293.00 109,258,500	2.94
4	カチタス	日本	株式	不動産業	24,500	3,505.00 85,872,500	4,440.00 108,780,000	2.92
5	トクヤマ	日本	株式	化学	41,500	2,560.00 106,240,000	2,477.00 102,795,500	2.76
6	MARUWA	日本	株式	ガラス・土石製品	12,900	5,070.00 65,403,000	6,930.00 89,397,000	2.40
7	技研製作所	日本	株式	機械	25,900	3,320.00 85,988,000	3,420.00 88,578,000	2.38
8	小松製作所	日本	株式	機械	34,500	2,554.50 88,130,250	2,475.00 85,387,500	2.30
9	エスペック	日本	株式	電気機器	39,000	2,066.22 80,582,874	1,879.00 73,281,000	1.97
10	キトー	日本	株式	機械	47,000	1,665.32 78,270,366	1,549.00 72,803,000	1.96
11	竹内製作所	日本	株式	機械	42,800	1,871.00 80,078,800	1,677.00 71,775,600	1.93
12	共立メンテナンス	日本	株式	サービス業	15,500	5,700.00 88,350,000	4,625.00 71,687,500	1.93
13	和井田製作所	日本	株式	機械	57,200	1,306.97 74,759,091	1,251.00 71,557,200	1.92
14	セーレン	日本	株式	繊維製品	52,600	1,685.36 88,650,121	1,242.00 65,329,200	1.76
15	トヨタ自動車	日本	株式	輸送用機器	8,600	6,610.00 56,846,000	7,216.00 62,057,600	1.67
16	インスベック	日本	株式	電気機器	40,000	1,385.05 55,402,309	1,503.00 60,120,000	1.62
17	太平洋工業	日本	株式	輸送用機器	38,000	1,628.58 61,886,165	1,579.00 60,002,000	1.61
18	ソニー	日本	株式	電気機器	8,800	4,630.00 40,744,000	6,347.00 55,853,600	1.50
19	キーエンス	日本	株式	電気機器	800	69,090.00 55,272,000	66,900.00 53,520,000	1.44
20	伊藤忠	日本	株式	卸売業	20,900	2,023.50 42,291,150	2,231.00 46,627,900	1.25
21	T D K	日本	株式	電気機器	4,700	8,520.00 40,044,000	9,670.00 45,449,000	1.22

22	ダイキアックス	日本	株式	化学	56,000	823.00 46,088,000	807.00 45,192,000	1.21
23	NECネットエスアイ	日本	株式	情報・通 信業	15,000	2,610.00 39,150,000	2,931.00 43,965,000	1.18
24	東海旅客鉄道	日本	株式	陸運業	1,900	24,580.00 46,702,000	22,220.00 42,218,000	1.13
25	K O A	日本	株式	電気機 器	30,800	1,506.00 46,384,800	1,328.00 40,902,400	1.10
26	K D D I	日本	株式	情報・通 信業	13,800	2,446.50 33,761,700	2,825.00 38,985,000	1.05
27	大和ハウス	日本	株式	建設業	11,000	3,444.00 37,884,000	3,506.00 38,566,000	1.04
28	ピーアールホールディング ス	日本	株式	建設業	89,000	333.88 29,715,517	407.00 36,223,000	0.97
29	内外トランスライン	日本	株式	倉庫・運 輸関連 業	27,500	1,325.45 36,449,984	1,314.00 36,135,000	0.97
30	クリヤマホールディングス	日本	株式	卸売業	43,200	947.00 40,910,400	816.00 35,251,200	0.95

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
株式	95.37%
合計	95.37%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

業種	投資比率
水産・農林業	0.31%
建設業	3.65%
食料品	0.77%
繊維製品	3.00%
パルプ・紙	0.84%
化学	11.71%
ガラス・土石製品	4.11%
非鉄金属	0.93%
金属製品	0.50%
機械	14.34%

電気機器	16.96%
輸送用機器	6.97%
精密機器	0.42%
その他製品	1.43%
電気・ガス業	0.34%
陸運業	2.99%
空運業	0.09%
倉庫・運輸関連業	0.97%
情報・通信業	8.74%
卸売業	5.46%
小売業	3.25%
不動産業	3.35%
サービス業	4.23%
合計	95.37%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

(1) 投資状況（2019年9月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	24,943,331,952	94.61
内 ユーロ	6,324,768,867	23.99
内 ノルウェー	489,862,771	1.86
内 スウェーデン	323,800,880	1.23
内 デンマーク	779,202,016	2.96
内 イギリス	3,117,354,108	11.82
内 ポーランド	1,805,096,381	6.85
内 カナダ	2,264,930,616	8.59
内 アメリカ	6,542,456,931	24.81
内 オーストラリア	3,295,859,382	12.50

特殊債券		970,626,167	3.68
	内 カナダ	970,626,167	3.68
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		451,554,129	1.71
純資産総額		26,365,512,248	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
為替予約取引(買建)	2,408,719,000	9.14
内 日本	2,408,719,000	9.14
為替予約取引(売建)	2,416,861,531	9.17
内 日本	2,416,861,531	9.17

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(2) 投資資産 (2019年9月30日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ. 主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	15,000,000	109.36 1,936,035,486	113.64 2,011,768,920	1.950000 2026/04/30	7.63
2	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オースト リア	国債 証券	19,000,000	129.87 1,798,349,711	143.42 1,986,076,201	4.500000 2033/04/21	7.53
3	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	15,000,000	95.10 1,539,494,988	100.10 1,620,564,492	1.625000 2026/02/15	6.15
4	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	15,000,000	98.99 1,602,482,496	99.48 1,610,446,992	1.375000 2021/04/30	6.11
5	United Kingdom Gilt	イギリス	国債 証券	9,300,000	123.81 1,527,848,787	125.41 1,547,580,719	5.000000 2025/03/07	5.87
6	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	13,100,000	94.61 1,337,586,728	107.67 1,522,200,915	2.500000 2046/02/15	5.77
7	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	10,000,000	104.31 1,231,090,224	111.62 1,317,386,448	1.400000 2028/04/30	5.00

8	Poland Government Bond	ポーランド	国債証券	42,000,000	110.15 1,246,381,794	108.64 1,229,307,760	5.750000 2021/10/25	4.66
9	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	13,500,000	98.85 1,087,474,678	100.87 1,109,741,006	1.500000 2026/06/01	4.21
10	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	5,200,000	146.05 896,345,377	170.79 1,048,145,061	3.250000 2045/05/25	3.98
11	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	11,500,000	103.58 970,712,547	104.75 981,648,912	2.250000 2025/06/01	3.72
12	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	8,000,000	99.14 855,935,104	103.75 895,736,000	2.250000 2025/11/15	3.40
13	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	8,000,000	100.44 867,238,375	103.49 893,508,531	2.375000 2024/02/29	3.39
14	IRISH TREASURY	ユーロ	国債証券	6,600,000	105.82 824,312,578	108.59 845,888,994	1.000000 2026/05/15	3.21
15	United Kingdom Gilt	イギリス	国債証券	4,500,000	104.00 621,042,939	108.16 645,870,565	1.500000 2026/07/22	2.45
16	DANISH GOVERNMENT BOND	デンマーク	国債証券	33,000,000	113.66 593,040,056	115.67 603,526,829	1.750000 2025/11/15	2.29
17	CANADA HOUSING TRUST	カナダ	特殊債券	7,000,000	101.19 577,235,229	103.05 587,833,819	2.250000 2025/12/15	2.23
18	Poland Government Bond	ポーランド	国債証券	20,000,000	99.10 533,988,516	106.86 575,788,620	2.750000 2029/10/25	2.18
19	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オーストラリア	国債証券	5,700,000	122.07 507,102,465	128.39 533,377,527	4.750000 2027/04/21	2.02
20	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オーストラリア	国債証券	7,000,000	102.40 522,429,348	102.01 520,449,927	4.500000 2020/04/15	1.97
21	IRISH TREASURY	ユーロ	国債証券	3,600,000	107.75 457,829,321	110.96 471,467,712	1.100000 2029/05/15	1.79
22	United Kingdom Gilt	イギリス	国債証券	3,200,000	103.68 440,267,543	110.67 469,917,919	1.625000 2028/10/22	1.78
23	CANADA HOUSING TRUST	カナダ	特殊債券	4,500,000	102.99 377,669,479	104.38 382,792,348	2.550000 2025/03/15	1.45
24	Belgium Government Bond	ユーロ	国債証券	1,500,000	153.78 272,250,896	183.17 324,278,243	3.750000 2045/06/22	1.23

25	SWEDISH GOVERNMENT BOND	スウェー デン	国債 証券	27,000,000	108.07 321,572,305	108.82 323,800,880	1.500000 2023/11/13	1.23
26	GERMAN GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	1,500,000	148.14 262,255,782	172.75 305,833,487	2.500000 2046/08/15	1.16
27	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オースト ラリア	国債 証券	2,900,000	116.31 245,840,419	121.10 255,955,726	3.250000 2029/04/21	0.97
28	NORWEGIAN GOVERNMENT BOND	ノル ウェー	国債 証券	20,000,000	107.33 255,027,960	107.53 255,496,032	3.000000 2024/03/14	0.97
29	United Kingdom Gilt	イギリス	国債 証券	1,000,000	157.72 209,278,668	178.68 237,090,492	4.250000 2046/12/07	0.90
30	United Kingdom Gilt	イギリス	国債 証券	1,500,000	109.52 218,001,045	108.97 216,894,410	4.000000 2022/03/07	0.82

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	94.61%
特殊債券	3.68%
合計	98.29%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
為替予約取引	日本	豪ドル買/円売 2019年10月	買建	28,200,000	2,048,185,151	2,053,806,000	7.79%
		ノルウェー・クローネ買/円売 2019年10月	買建	29,900,000	355,008,210	354,913,000	1.35%

カナダ・ドル売/円買 2019年10月	売建	25,342,553	2,048,185,151	2,063,137,257	7.83%
スウェーデン・クローネ 売/円買 2019年10月	売建	32,098,392	355,008,210	353,724,274	1.34%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(注3) 為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド

(1) 投資状況 (2019年9月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	35,056,076,064	71.27
内 ユーロ	22,377,044,843	45.49
内 ポーランド	2,869,083,060	5.83
内 アメリカ	8,418,793,333	17.12
内 メキシコ	1,391,154,828	2.83
地方債証券	1,809,748,663	3.68
内 カナダ	1,809,748,663	3.68
特殊債券	2,377,975,501	4.83
内 スウェーデン	752,129,326	1.53
内 イギリス	486,716,208	0.99
内 カナダ	1,139,129,967	2.32
社債券	8,318,865,223	16.91
内 ユーロ	160,549,923	0.33
内 スウェーデン	1,562,162,140	3.18
内 イギリス	191,328,630	0.39
内 アメリカ	3,701,406,813	7.53
内 オーストラリア	2,703,417,717	5.50
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	1,625,355,214	3.30
純資産総額	49,188,020,665	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
為替予約取引(売建)	47,630,544,600	96.83
内 日本	47,630,544,600	96.83

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(2) 投資資産（2019年9月30日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1	ITALIAN GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	58,000,000	101.42 6,942,755,458	104.52 7,155,040,393	1.450000 2022/09/15	14.55
2	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	34,900,000	102.38 3,856,123,838	103.49 3,897,930,967	2.375000 2024/02/29	7.92
3	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	26,000,000	109.06 3,346,619,967	111.62 3,425,204,764	1.400000 2028/04/30	6.96
4	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	26,000,000	108.58 3,046,935,712	119.13 3,342,748,614	3.000000 2049/02/15	6.80
5	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	ユーロ	国債 証券	22,400,000	116.06 3,068,223,533	119.01 3,146,205,484	4.500000 2024/03/01	6.40
6	ITALIAN GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	22,300,000	99.58 2,620,937,883	103.25 2,717,380,995	0.950000 2023/03/15	5.52
7	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	11,300,000	109.62 1,462,000,838	111.48 1,486,846,291	1.500000 2027/04/30	3.02
8	Poland Government Bond	ポーランド	国債 証券	50,000,000	103.39 1,392,771,060	106.86 1,439,471,550	2.750000 2029/10/25	2.93
9	Poland Government Bond	ポーランド	国債 証券	50,000,000	104.25 1,404,333,708	106.13 1,429,611,510	2.750000 2028/04/25	2.91
10	ONTARIO PROVINCE	カナダ	地方 債証 券	16,000,000	106.19 1,384,665,041	107.09 1,396,386,563	2.900000 2028/06/02	2.84
11	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	ユーロ	国債 証券	9,500,000	110.66 1,240,764,913	117.06 1,312,554,709	3.750000 2024/09/01	2.67

12	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	9,500,000	115.04 1,289,884,247	115.47 1,294,682,940	2.750000 2024/10/31	2.63
13	CANADA HOUSING TRUST	カナダ	特殊 債券	13,000,000	106.71 1,130,485,508	107.52 1,139,129,967	2.650000 2028/12/15	2.32
14	Mexican Bonos	メキシコ	国債 証券	150,000,000	106.66 876,773,996	111.58 917,261,580	8.500000 2029/05/31	1.86
15	Sveriges Sakerstallda Obligationer AB	スウェー デン	社債 券	70,000,000	109.78 846,904,632	111.46 859,848,724	2.000000 2026/06/17	1.75
16	NETHERLANDS GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	4,000,000	162.86 768,838,929	178.92 844,688,023	2.750000 2047/01/15	1.72
17	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	6,000,000	109.00 771,850,800	111.17 787,245,328	1.000000 2027/05/25	1.60
18	Kommuninvest I Sverige AB	スウェー デン	特殊 債券	65,000,000	104.42 748,010,601	105.00 752,129,326	1.000000 2025/05/12	1.53
19	Lansforsakringar Hypotek AB	スウェー デン	社債 券	60,000,000	104.92 693,750,876	106.21 702,313,416	1.250000 2025/09/17	1.43
20	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	6,000,000	102.72 665,171,395	105.44 682,777,464	2.375000 2027/05/15	1.39
21	BNG Bank NV	イギリス	特殊 債券	3,500,000	102.85 477,660,115	104.80 486,716,208	1.625000 2025/08/26	0.99
22	Mexican Bonos	メキシコ	国債 証券	83,000,000	99.29 451,628,829	104.18 473,893,247	7.500000 2027/06/03	0.96
23	Province of Alberta Canada	カナダ	地方 債証 券	5,000,000	101.18 412,257,910	101.45 413,362,099	2.200000 2026/06/01	0.84
24	Wells Fargo & Co	アメリカ	社債 券	3,000,000	104.47 338,248,260	107.54 348,190,929	4.100000 2026/06/03	0.71
25	BANK OF AMERICA CORP.	アメリカ	社債 券	3,000,000	102.31 331,267,994	105.65 342,081,578	3.593000 2028/07/21	0.70
26	Barclays PLC	オースト リア	社債 券	4,000,000	100.00 291,520,000	107.17 312,442,390	4.000000 2029/06/26	0.64
27	Verizon Communications Inc	オースト リア	社債 券	3,500,000	111.98 285,638,584	116.28 296,622,328	4.500000 2027/08/17	0.60
28	BPCE SA	オースト リア	社債 券	3,500,000	109.02 278,095,868	113.07 288,424,057	4.500000 2028/04/26	0.59
29	Mexico Government International Bond	アメリカ	国債 証券	2,000,000	104.98 226,601,782	108.65 234,512,318	4.500000 2029/04/22	0.48

30	HSBC Holdings PLC	アメリカ	社債券	2,000,000	105.53 227,778,110	108.14 233,424,484	4.300000 2026/03/08	0.47
----	-------------------	------	-----	-----------	-----------------------	-----------------------	------------------------	------

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

□. 投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	71.27%
地方債証券	3.68%
特殊債券	4.83%
社債券	16.91%
合計	96.70%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八. 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
為替予約取引	日本	豪ドル売/円買 2019年12月	売建	37,500,000	2,722,683,750	2,722,500,000	5.53%
		カナダ・ドル売/円買 2019年12月	売建	36,300,000	2,929,184,940	2,943,204,000	5.98%
		ユーロ売/円買 2019年12月	売建	190,500,000	22,520,801,415	22,488,525,000	45.72%
		米ドル売/円買 2019年12月	売建	113,700,000	12,152,392,440	12,189,777,000	24.78%
		メキシコ・ペソ売/円買 2019年12月	売建	255,200,000	1,378,610,816	1,367,872,000	2.78%
		ポーランド・ズロチ売/ 円買 2019年12月	売建	109,100,000	2,925,088,828	2,922,789,000	5.94%
		スウェーデン・クローネ 売/円買 2019年12月	売建	211,600,000	2,341,618,796	2,331,832,000	4.74%
		英ポンド売/円買 2019年 12月	売建	5,020,000	669,003,352	664,045,600	1.35%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(注3) 為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

(参考情報) 運用実績

● 四国アライアンス 地域創生ファンド(年2回決算型)

2019年9月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	9,958円
純資産総額	27億円



基準価額の騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	3.5%
3カ月間	1.7%
6カ月間	0.9%
1年間	-5.0%
3年間	-
5年間	-
設定率	0.7%

※上記の「基準価額の騰落率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 0円 設定率分配金合計額: 120円

決算期	第1期	第2期	第3期	第4期						
	17年10月	18年4月	18年10月	19年4月						
分配金	70円	50円	0円	0円						

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成	銘柄数	比率	通貨別構成	比率	債券ポートフォリオ特性値	組入上位銘柄(除く債券)	東証33業種名	比率	
外国債券	112	48.5%	日本円	75.0%	直接利回り(%)	ユニ・チャーム	化学	2.2%	
国内株式	204	48.0%	米ドル	6.3%	最終利回り(%)	三浦工業	機械	2.2%	
国内株式先物	1	0.2%	ユーロ	6.2%	修正デュレーション	三菱電機	電気機器	1.9%	
			豪ドル	5.1%	残存年数	ジャストシステム	情報・通信業	1.6%	
			英ポンド	3.0%	債券格付別構成	四国電力	電気・ガス業	1.4%	
			ポーランド・ズロチ	1.8%	AAA	52.1%	大塚ホールディングス	医薬品	1.4%
			カナダ・ドル	1.2%	AA	15.8%	大王製紙	パルプ・紙	1.3%
			ノルウェー・クローネ	0.8%	A	31.5%	技研製作所	機械	1.2%
			デンマーク・クローネ	0.7%	BBB	0.6%	富士通	電気機器	1.1%
コール・ローン、その他		3.6%	その他	0.0%	BB	-	イオン	小売業	1.0%
合計	317	-	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	15.2%	

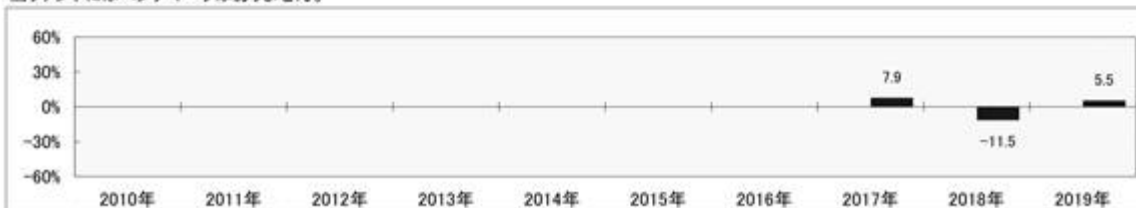
※債券格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成については、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計額を表示していません。

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



※ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※2017年は設定日(7月28日)から年末、2019年は9月30日までの騰落率を表示しています。

最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

第2 【管理及び運営】

1 【申込(販売)手続等】

受益権の取得申込者は、販売会社において取引口座を開設のうえ、取得の申込みを行なうものとします。

当ファンドには、収益分配金を税金を差引いた後無手数料で自動的に再投資する「分配金再投資コース」と、収益の分配が行なわれるごとに収益分配金を受益者に支払う「分配金支払いコース」があります。

「分配金再投資コース」を利用する場合、取得申込者は、販売会社と別に定める積立投資約款にしたがい契約（以下「別に定める契約」といいます。）を締結します。

販売会社は、受益権の取得申込者に対し、最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位をもって、取得の申込みに応じることができます。

ただし、販売会社は、ロンドンの銀行、ニューヨークの銀行、シカゴ商品取引所における米国債先物取引、ユーレックス・ドイツにおけるドイツ国債先物取引またはICEフューチャーズ・ヨーロッパにおけるイギリス国債先物取引のいずれかの休業日と同じ日付の日を取得申込受付日とする受益権の取得申込みの受け付けを行ないません。

お買付価額（1万口当たり）は、お買付申込受付日の翌営業日の基準価額です。

お買付時の申込手数料については、販売会社が別に定めるものとします。申込手数料には、消費税等が課されます。なお、「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

継続申込期間においては、委託会社の各営業日の午後3時までに受付けた取得の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生し、委託会社が追加設定を制限する措置をとった場合には、販売会社は、取得申込みの受け付けを中止することができるほか、すでに受付けた取得申込みを取消することができるものとします。

取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設された当ファンドの受益権の振替を行なうための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行なわれます。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行なうことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行なうものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行ないません。受託会社は、信託契約締結日に生じた受益権については信託契約締結時に、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行ないません。

2 【換金(解約)手続等】

委託会社の各営業日の午後3時までに受付けた換金の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

なお、信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の解約請求には制限があります。

<一部解約>

受益者は、自己に帰属する受益権について、最低単位を1口単位として販売会社が定める単位をもって、委託会社に一部解約の実行を請求することができます。

ただし、販売会社は、ロンドンの銀行、ニューヨークの銀行、シカゴ商品取引所における米国債先物取引、ユーレックス・ドイツにおけるドイツ国債先物取引またはICEフューチャーズ・ヨーロッパにおけるイギリス国債先物取引のいずれかの休業日と同じ日付の日を一部解約請求受付日とする一部解約の実行の請求の受け付けを行いません。

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

解約価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

解約価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

解約価額（基準価額）は、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

・委託会社のホームページ

アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約請求の受け付けを中止することができます。

一部解約請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の一部解約請求を撤回することができます。ただし、受益者がその一部解約請求を撤回しない場合には、当該受益権の一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約請求を受け付けたものとして、当該計算日の翌営業日の基準価額とします。

一部解約金は、販売会社の営業所等において、原則として一部解約の実行の請求受付日から起算して5営業日目から受益者に支払います。

受託会社は、一部解約金について、受益者への支払開始日までに、その全額を委託会社の指定する預金口座等に払込みます。受託会社は、委託会社の指定する預金口座等に一部解約金を払込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。

一部解約の実行の請求を行なう受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかる信託契約の一部解約を委託会社が行なうのと引換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。

3 【資産管理等の概要】

(1) 【資産の評価】

基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権口数で除した1万口当たりの価額をいいます。

純資産総額とは、信託財産に属する資産を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価（注1、注2）により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

（注1）当ファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）の受益証券：計算日の前営業日の基準価額で評価します。
- ・マザーファンドの受益証券：計算日の基準価額で評価します。

（注2）マザーファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・海外の公社債：原則として、次に掲げるいずれかの価額で評価します。
 1. 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く。）
 2. 価格情報会社の提供する価額
- ・わが国の金融商品取引所上場株式：原則として当該取引所における計算日の最終相場で評価します。

基準価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

基準価額は、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

- ・お電話によるお問い合わせ先（委託会社）
電話番号（コールセンター） 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
- ・委託会社のホームページ
アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(2) 【保管】

該当事項はありません。

(3) 【信託期間】

2017年7月28日から2027年4月9日までとします。ただし、(5) により信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

委託会社は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長することができます。

(4) 【計算期間】

毎年4月11日から10月10日まで、および10月11日から翌年4月10日までとします。ただし、第1計算期間は、2017年7月28日から2017年10月10日までとし、最終計算期間は、2026年10月11日から2027年4月9日までとします。

上記にかかわらず、上記により各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日の場合には、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日から次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日には適用しません。

(5) 【その他】

信託の終了

1. 委託会社は、受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
2. 委託会社は、前1.の事項について、書面による決議(以下「書面決議」といいます。)を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託契約にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
3. 前2.の書面決議において、受益者(委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3.において同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、信託契約にかかる知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
4. 前2.の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
5. 前2.から前4.までの規定は、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、前2.から前4.までの手続きを行なうことが困難な場合も同じとします。
6. 委託会社は、監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し、信託を終了させます。
7. 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、の書面決議で否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。
8. 受託会社が辞任した場合または裁判所が受託会社を解任した場合において、委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。

信託約款の変更等

1. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することまたは当ファンドと他のファンドとの併合(投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。)を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨お

よびその内容を監督官庁に届出ます。なお、信託約款は本 1. から7. までに定める以外の方法によって変更することができないものとします。

2. 委託会社は、前1. の事項(前1. の変更事項にあっては、その内容が重大なものに該当する場合に限り、前1. の併合事項にあっては、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除きます。以下「重大な信託約款の変更等」といいます。)について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な信託約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託約款にかかる知っている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
3. 前2. の書面決議において、受益者(委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3. において同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、信託約款にかかる知っている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
4. 前2. の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
5. 書面決議の効力は、当ファンドのすべての受益者に対してその効力を生じます。
6. 前2. から前5. までの規定は、委託会社が重大な信託約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
7. 前1. から前6. までの規定にかかわらず、当ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる一または複数の他のファンドにおいて当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行なうことはできません。
8. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、前1. から前7. までの規定にしたがいます。

反対受益者の受益権買取請求の不適用

当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権買取請求の規定の適用を受けません。

運用報告書

1. 委託会社は、運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況、費用明細などのうち重要な事項を記載した交付運用報告書(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第4項に定める運用報告書)を計算期間の末日ごとに作成し、信託財産にかかる知っている受益者に対して交付します。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
2. 委託会社は、運用報告書(全体版)(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書)を作成し、委託会社のホームページに掲載します。
 - ・委託会社のホームページ
アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>
3. 前2. の規定にかかわらず、受益者から運用報告書(全体版)の交付の請求があった場合には、これを交付します。

公告

1. 委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

2. 前1. の電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

関係法人との契約の更改

委託会社と販売会社との間で締結される受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約は、期間満了の1か月（または3か月）前までに、委託会社および販売会社いずれからも何ら意思の表示のないときは、自動的に1年間更新されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様とします。

4 【受益者の権利等】

信託契約締結当初および追加信託当初の受益者は、委託会社の指定する受益権取得申込者とし、分割された受益権は、その取得申込口数に応じて、取得申込者に帰属します。

受益者の有する主な権利の内容、その行使の方法等は、次のとおりです。

収益分配金および償還金にかかる請求権

受益者は、収益分配金（分配金額は、委託会社が決定します。）および償還金（信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権口数で除した額をいいます。以下同じ。）を持分にに応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払います。

上記にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者については、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に収益分配金が再投資されます。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に、原則として信託終了日から起算して5営業日までに支払います。

収益分配金および償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行なうものとします。

受益者が、収益分配金については支払開始日から5年間その支払いを請求しないときならびに信託終了による償還金については支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

換金請求権

受益者は、保有する受益権を換金する権利を有します。権利行使の方法等については、「2 換金（解約）手続等」をご参照下さい。

第3 【ファンドの経理状況】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第5期計算期間(2019年4月11日から2019年10月10日まで)の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

四国アライアンス 地域創生ファンド（年2回決算型）

(1)【貸借対照表】

（単位：円）

	第4期 2019年4月10日現在	第5期 2019年10月10日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	36,802,630	34,589,041
投資信託受益証券	718,805,211	679,001,662
親投資信託受益証券	2,124,342,185	2,012,062,618
未収入金	20,493,000	1,243,000
流動資産合計	2,900,443,026	2,726,896,321
資産合計	2,900,443,026	2,726,896,321
負債の部		
流動負債		
未払解約金	20,768,004	997,988
未払受託者報酬	460,055	444,475
未払委託者報酬	13,419,448	12,965,316
その他未払費用	114,955	112,986
流動負債合計	34,762,462	14,520,765
負債合計	34,762,462	14,520,765
純資産の部		
元本等		
元本	1 2,868,174,861	1 2,708,593,482
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2 2,494,297	2 3,782,074
（分配準備積立金）	64,873,456	68,133,129
元本等合計	2,865,680,564	2,712,375,556
純資産合計	2,865,680,564	2,712,375,556
負債純資産合計	2,900,443,026	2,726,896,321

(2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第4期		第5期	
	自 2018年10月11日	至 2019年4月10日	自 2019年4月11日	至 2019年10月10日
営業収益				
受取利息		-		41
有価証券売買等損益		56,357,982		17,270,884
営業収益合計		56,357,982		17,270,925
営業費用				
支払利息		10,310		8,911
受託者報酬		460,055		444,475
委託者報酬		13,419,448		12,965,316
その他費用		115,981		113,170
営業費用合計		14,005,794		13,531,872
営業利益又は営業損失()		70,363,776		3,739,053
経常利益又は経常損失()		70,363,776		3,739,053
当期純利益又は当期純損失()		70,363,776		3,739,053
一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()		5,508,931		2,653,280
期首剰余金又は期首欠損金()		67,127,240		2,494,297
剰余金増加額又は欠損金減少額		-		158,211
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-		158,211
剰余金減少額又は欠損金増加額		4,766,692		274,173
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		3,252,941		-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		1,513,751		274,173
分配金		1 -		1 -
期末剰余金又は期末欠損金()		2,494,297		3,782,074

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第5期	
	自 2019年4月11日	至 2019年10月10日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)親投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第4期	第5期
	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
1. 1 期首元本額	2,905,044,677円	2,868,174,861円
期中追加設定元本額	109,480,514円	11,200,530円
期中一部解約元本額	146,350,330円	170,781,909円
2. 計算期間末日における受益権の総数	2,868,174,861口	2,708,593,482口
3. 2 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は2,494,297円であります。	

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	第4期	第5期
	自 2018年10月11日 至 2019年4月10日	自 2019年4月11日 至 2019年10月10日
1 分配金の計算過程	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（9,326,374円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（25,883,688円）及び分配準備積立金（55,547,082円）より分配対象額は90,757,144円（1万口当たり316.43円）であり、分配を行っておりません。</p>	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（7,113,598円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（44,337,301円）及び分配準備積立金（61,019,531円）より分配対象額は112,470,430円（1万口当たり415.24円）であり、分配を行っておりません。</p>

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区 分	第5期
	自 2019年4月11日 至 2019年10月10日
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。</p>
2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。</p>

4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。
--------------------------------	--

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第5期
	2019年10月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	第4期	第5期
	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	49,152,806	20,888,950
親投資信託受益証券	9,495,469	35,766,840
合計	58,648,275	14,877,890

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第4期	第5期
2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

第5期
自 2019年4月11日
至 2019年10月10日

市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第4期 2019年4月10日現在	第5期 2019年10月10日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.9991円 (9,991円)	1.0014円 (10,014円)

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
投資信託受益証券	地方創生ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	701,230,675	679,001,662	
投資信託受益証券 合計			679,001,662	
親投資信託受益証券	ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド	573,550,520	671,570,303	
	四国応援マザーファンド	655,402,395	671,263,132	
	ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	393,756,874	669,229,183	
親投資信託受益証券 合計			2,012,062,618	
合計			2,691,064,280	

投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは、「地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「四国応援マザーファンド」受益証券、「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」受益証券及び「ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンドの状況及び当ファンドの計算期間末日（以下、「期末日」）における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「四国応援マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,165,503	4,321,337
株式	2,220,413,750	2,238,766,390
派生商品評価勘定	51,960	-
未収配当金	17,700,680	16,431,750
前払金	-	166,500
流動資産合計	2,239,331,893	2,259,685,977
資産合計	2,239,331,893	2,259,685,977
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	-	152,148
前受金	70,000	-
未払解約金	672,000	-
その他未払費用	39	3
流動負債合計	742,039	152,151
負債合計	742,039	152,151
純資産の部		
元本等		
元本	2,177,915,079	2,206,107,090
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	60,674,775	53,426,736
元本等合計	2,238,589,854	2,259,533,826

純資産合計	2,238,589,854	2,259,533,826
負債純資産合計	2,239,331,893	2,259,685,977

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2019年4月11日 至 2019年10月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。 なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認められた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認められた価額で評価しております。
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
1. 1 期首	2018年10月11日	2019年4月11日
期首元本額	1,969,379,414円	2,177,915,079円
期中追加設定元本額	248,420,427円	166,900,418円
期中一部解約元本額	39,884,762円	138,708,407円
期末元本額の内訳 ファンド名		

	四国アライアンス 地域創生 ファンド(年1回決算型)	1,492,525,889円	1,550,704,695円
	四国アライアンス 地域創生 ファンド(年2回決算型)	685,389,190円	655,402,395円
計		2,177,915,079円	2,206,107,090円
2.	期末日における受益権の総数	2,177,915,079口	2,206,107,090口
3.	2 差入委託証拠金代用有価証券	先物取引に係る差入委託証拠 金代用有価証券として以下の とおり差入を行っております。 株式 22,293,500円	先物取引に係る差入委託証拠 金代用有価証券として以下の とおり差入を行っております。 株式 20,916,000円

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2019年4月11日 至 2019年10月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。 信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所(外国の取引所)における株価指数先物取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。

4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。
--------------------------------	--

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年10月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
株式	165,817,909	25,975,350
合計	165,817,909	25,975,350

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2018年4月11日から2019年4月10日まで、及び2019年4月11日から2019年10月10日まで）を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連

種 類	2019年4月10日 現在			2019年10月10日 現在		
	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益

	(円)	うち 1年超	(円)	(円)	(円)	うち 1年超	(円)	(円)
市場取引								
株価指数 先物取引								
買 建	7,992,500	-	8,045,000	52,500	9,643,500	-	9,492,000	151,500
合計	7,992,500	-	8,045,000	52,500	9,643,500	-	9,492,000	151,500

(注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
1口当たり純資産額	1.0279円	1.0242円
(1万口当たり純資産額)	(10,279円)	(10,242円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

銘柄	株式数	評価額(円)		備考
		単価	金額	
ホクト	1,800	1,943.00	3,497,400	
ベルグアース	700	2,268.00	1,587,600	
フィット	2,400	506.00	1,214,400	
スペースバリューHD	2,000	486.00	972,000	
日鉄鉱業	500	4,100.00	2,050,000	
三井住友建設	9,000	560.00	5,040,000	
NIPPON	6,600	2,127.00	14,038,200	
東亜道路	300	3,315.00	994,500	

日本道路	500	6,560.00	3,280,000
世紀東急	2,200	726.00	1,597,200
四電工	4,500	2,778.00	12,501,000
フィード・ワン	10,900	162.00	1,765,800
セーラー広告	3,400	315.00	1,071,000
K G情報	4,100	384.00	1,574,400
かどや製油	500	3,660.00	1,830,000
ハローズ	1,100	2,397.00	2,636,700
日清紡ホールディングス	9,900	827.00	8,187,300
倉敷紡績	1,300	2,351.00	3,056,300
ありがとうサービス	500	2,281.00	1,140,500
東レ	90,300	813.30	73,440,990
クラレ	19,600	1,287.00	25,225,200
アクサスホールディングス	17,900	108.00	1,933,200
ファインデックス	14,700	932.00	13,700,400
e B A S E	1,300	991.00	1,288,300
王子ホールディングス	56,200	520.00	29,224,000
大王製紙	85,100	1,408.00	119,820,800
ニッポン高度紙工業	6,100	1,277.00	7,789,700
阿波製紙	5,600	400.00	2,240,000
レンゴー	15,000	762.00	11,430,000
住友化学	91,600	493.00	45,158,800
東亜合成	7,300	1,178.00	8,599,400
大阪ソーダ	1,500	2,753.00	4,129,500
四国化成	32,600	1,148.00	37,424,800
田岡化学	200	7,780.00	1,556,000
日立化成	11,500	3,565.00	40,997,500
大倉工業	6,900	1,713.00	11,819,700
ダイキアクシス	6,900	845.00	5,830,500
クリエアナブキ	1,300	418.00	543,400
大日本住友製薬	22,000	1,764.00	38,808,000
大塚ホールディングス	30,900	4,199.00	129,749,100
ジャストシステム	35,500	4,290.00	152,295,000
アース製薬	1,100	5,490.00	6,039,000
ニッタ	1,700	2,848.00	4,841,600
三ツ星ベルト	1,800	1,821.00	3,277,800
住友大阪セメント	2,200	4,590.00	10,098,000
太平洋セメント	7,000	2,836.00	19,852,000
日本興業	1,700	870.00	1,479,000
東洋炭素	1,200	2,341.00	2,809,200

丸一鋼管	5,200	2,736.00	14,227,200	
新日本電工	8,100	172.00	1,393,200	
三菱マテリアル	7,300	2,866.00	20,921,800	
住友鉱山	16,100	3,339.00	53,757,900	
三浦工業	67,600	3,115.00	210,574,000	
技研製作所	15,500	3,380.00	52,390,000	
住友重機械	6,800	3,120.00	21,216,000	
井関農機	12,700	1,476.00	18,745,200	
タダノ	71,700	995.00	71,341,500	
兼松エンジニアリング	3,100	1,120.00	3,472,000	
ジェイテクト	19,000	1,222.00	23,218,000	
三菱電機	118,900	1,428.00	169,789,200	
富士通	11,500	8,791.00	101,096,500	
日本トリム	500	4,770.00	2,385,000	
アオイ電子	6,600	2,316.00	15,285,600	
川崎重工業	9,200	2,395.00	22,034,000	
新明和工業	5,300	1,260.00	6,678,000	
ダイコー通産	1,500	1,722.00	2,583,000	
ニホンフラッシュ	6,900	2,485.00	17,146,500	
セキ	300	1,600.00	480,000	
レック	2,100	975.00	2,047,500	
南海プライウッド	600	6,260.00	3,756,000	
リンテック	4,200	2,128.00	8,937,600	
ミロク	1,700	2,050.00	3,485,000	
ユニ・チャーム	59,100	3,444.00	203,540,400	
イオン	48,300	2,118.00	102,299,400	
フジ	21,200	1,866.00	39,559,200	
穴吹興産	3,200	2,798.00	8,953,600	
四国電力	123,500	1,037.00	128,069,500	
電源開発	10,100	2,539.00	25,643,900	
ヨンキュウ	1,700	1,505.00	2,558,500	
ジェコス	2,000	873.00	1,746,000	
合計			2,238,766,390	

(注) 先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下の有価証券が差し入れられております。

三菱電機 5,000株 ユニ・チャーム 4,000株

(2) 株式以外の有価証券
該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引に関する注記）」に記載しております。

「地方創生ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

ファンドの経理状況

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、第5期計算期間（2019年3月26日から2019年9月24日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

その監査報告書は、該当する財務諸表の直前に添付しております。

財務諸表

地方創生ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

(1) 貸借対照表

	第4期	第5期
	2019年3月25日現在	2019年9月24日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	16,840,674	8,313,277
親投資信託受益証券	2,134,115,657	2,268,038,475
未収入金	-	2,740,000
流動資産合計	2,150,956,331	2,279,091,752
資産合計	2,150,956,331	2,279,091,752
負債の部		
流動負債		

未払解約金		-	2,520,000
未払受託者報酬		226,727	234,590
未払委託者報酬		5,782,640	5,983,511
その他未払費用		56,614	59,680
流動負債合計		6,065,981	8,797,781
負債合計		6,065,981	8,797,781
純資産の部			
元本等			
元本	1	2,286,605,436	2,377,345,704
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2	141,715,086	107,051,733
（分配準備積立金）		193,434,402	204,028,396
元本等合計		2,144,890,350	2,270,293,971
純資産合計		2,144,890,350	2,270,293,971
負債純資産合計		2,150,956,331	2,279,091,752

(2) 損益及び剰余金計算書

	第4期	第5期
	自 2018年9月26日 至 2019年3月25日	自 2019年3月26日 至 2019年9月24日
	金額（円）	金額（円）
営業収益		
有価証券売買等損益	376,191,869	57,412,818
営業収益合計	376,191,869	57,412,818
営業費用		
支払利息	3,411	3,468
受託者報酬	226,727	234,590
委託者報酬	5,782,640	5,983,511
その他費用	59,526	60,645
営業費用合計	6,072,304	6,282,214
営業利益又は営業損失（ ）	382,264,173	51,130,604
経常利益又は経常損失（ ）	382,264,173	51,130,604
当期純利益又は当期純損失（ ）	382,264,173	51,130,604
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は 一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	5,347,092	6,634,740
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	259,741,683	141,715,086
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	8,979,793

当期一部解約に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	-	8,979,793
剰余金減少額又は欠損金増加額	24,539,688	18,812,304
当期一部解約に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	12,417,146	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	12,122,542	18,812,304
分配金 1	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	141,715,086	107,051,733

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第5期	
	自 2019年3月26日	至 2019年9月24日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	計算期間末日 2019年3月24日が休日のため、前計算期間末日を2019年3月25日としております。このため、当計算期間は183日となっております。	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第4期	第5期
	2019年3月25日現在	2019年9月24日現在
1. 1 期首元本額	2,091,464,822円	2,286,605,436円
期中追加設定元本額	299,934,551円	235,793,307円
期中一部解約元本額	104,793,937円	145,053,039円
2. 計算期間末日における受益権の総数	2,286,605,436口	2,377,345,704口

3. 2 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は141,715,086円でありませ	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は107,051,733円でありませ
------------	--	--

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	第4期	第5期
	自 2018年9月26日 至 2019年3月25日	自 2019年3月26日 至 2019年9月24日
1 分配金の計算過程	計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(13,513,789円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(64,783,667円)及び分配準備積立金(179,920,613円)より分配対象額は258,218,069円(1万口当たり1,129.26円)であり、分配を行っておりませ	計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(22,425,031円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(87,289,408円)及び分配準備積立金(181,603,365円)より分配対象額は291,317,804円(1万口当たり1,225.39円)であり、分配を行っておりませ

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	第5期
	自 2019年3月26日 至 2019年9月24日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券に投資しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。

3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第5期 2019年9月24日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種 類	第4期 2019年3月25日現在	第5期 2019年9月24日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	372,109,178	50,830,428
合計	372,109,178	50,830,428

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第4期 2019年3月25日現在	第5期 2019年9月24日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

<p>第5期</p> <p>自 2019年3月26日</p> <p>至 2019年9月24日</p>
<p>市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。</p>

(1口当たり情報)

	第4期 2019年3月25日現在	第5期 2019年9月24日現在
1口当たり純資産額	0.9380円	0.9550円
(1万口当たり純資産額)	(9,380円)	(9,550円)

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
親投資信託受益証券	地方創生マザーファンド	1,765,285,239	2,268,038,475	
親投資信託受益証券 合計			2,268,038,475	
合計			2,268,038,475	

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

参考情報

当ファンドは、「地方創生マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、当ファンドの計算期間末日(以下、「期末日」)における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「地方創生マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2019年3月25日現在	2019年9月24日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	122,981,011	144,701,358
株式	3,390,682,000	3,589,087,750
未収入金	1,396,565	-
未収配当金	7,297,500	1,944,600
流動資産合計	3,522,357,076	3,735,733,708
資産合計	3,522,357,076	3,735,733,708
負債の部		
流動負債		
未払金	22,160,656	-
未払解約金	-	2,783,000
その他未払費用	-	329
流動負債合計	22,160,656	2,783,329
負債合計	22,160,656	2,783,329
純資産の部		
元本等		
元本	1 2,782,323,571	2,905,461,798
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	717,872,849	827,488,581
元本等合計	3,500,196,420	3,732,950,379
純資産合計	3,500,196,420	3,732,950,379
負債純資産合計	3,522,357,076	3,735,733,708

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2019年3月26日 至 2019年9月24日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式

2. 収益及び費用の計上基準	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認められた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認められた価額で評価しております。</p> <p>受取配当金</p> <p>原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
----------------	--

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2019年3月25日現在	2019年9月24日現在
1. 1 期首	2018年9月26日	2019年3月26日
期首元本額	2,501,108,422円	2,782,323,571円
期中追加設定元本額	352,490,711円	264,387,102円
期中一部解約元本額	71,275,562円	141,248,875円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
地方創生ファンド（FOFs用）	1,696,435,340円	1,765,285,239円
（適格機関投資家専用）		
北海道未来の夢創生ファンド	990,837,719円	990,837,719円
地方創生日本株ファンド	95,050,512円	149,338,840円
計	2,782,323,571円	2,905,461,798円
2. 期末日における受益権の総数	2,782,323,571口	2,905,461,798口

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2019年3月26日 至 2019年9月24日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。

2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年9月24日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種 類	2019年3月25日現在	2019年9月24日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
株式	420,725,508	61,617,951
合計	420,725,508	61,617,951

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2018年3月27日から2019年3月25日まで、及び2019年3月26日から2019年9月24日まで）を指しております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2019年3月25日現在	2019年9月24日現在
--------------	--------------

該当事項はありません。	該当事項はありません。
-------------	-------------

(1口当たり情報)

	2019年3月25日現在	2019年9月24日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.2580円 (12,580円)	1.2848円 (12,848円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

銘柄	株式数	評価額(円)		備考
		単価	金額	
アクシズ	5,100	2,254.00	11,495,400	
ビーアールホールディングス	89,000	392.00	34,888,000	
大成建設	700	4,190.00	2,933,000	
大豊建設	7,000	2,871.00	20,097,000	
五洋建設	14,700	587.00	8,628,900	
大和ハウス	11,000	3,589.00	39,479,000	
ライト工業	16,000	1,418.00	22,688,000	
九電工	1,800	3,585.00	6,453,000	
NECネットエスアイ	15,000	2,963.00	44,445,000	
シイエム・シイ	4,400	2,060.00	9,064,000	
ブルボン	9,500	1,710.00	16,245,000	
寿スピリッツ	1,000	6,930.00	6,930,000	
ワールドホールディングス	4,500	1,621.00	7,294,500	
アスカネット	11,900	1,431.00	17,028,900	
サンエー	800	4,860.00	3,888,000	
パルグループHLDGS	6,500	3,410.00	22,165,000	
JALUX	6,900	2,454.00	16,932,600	
あじかん	7,500	734.00	5,505,000	
アルペン	13,500	1,717.00	23,179,500	
倉敷紡績	6,500	2,254.00	14,651,000	
TOKAIホールディングス	23,900	1,047.00	25,023,300	
三重交通グループHD	4,000	562.00	2,248,000	
クリヤマホールディングス	43,200	835.00	36,072,000	
サカイオーベックス	12,400	1,725.00	21,390,000	
セーレン	52,600	1,278.00	67,222,800	

電算システム	9,200	2,932.00	26,974,400	
ブイキューブ	8,200	438.00	3,591,600	
サイバーリンクス	23,800	1,110.00	26,418,000	
北越コーポレーション	40,000	557.00	22,280,000	
ハビックス	13,700	701.00	9,603,700	
神島化学	10,500	773.00	8,116,500	
トクヤマ	41,500	2,453.00	101,799,500	
イビデン	14,000	2,138.00	29,932,000	
四国化成	21,000	1,165.00	24,465,000	
田岡化学	19,800	5,890.00	116,622,000	
本州化学	15,600	1,130.00	17,628,000	
旭有機材	84,500	1,347.00	113,821,500	
ダイキアクシス	56,000	822.00	46,032,000	
日本システム技術	9,800	1,254.00	12,289,200	
電通	7,000	3,945.00	27,615,000	
ダイトーケミックス	16,000	308.00	4,928,000	
システムサポート	19,200	1,702.00	32,678,400	
アイティフォー	41,000	855.00	35,055,000	
トスネット	9,000	1,170.00	10,530,000	
有沢製作所	12,000	1,014.00	12,168,000	
ジオスター	28,800	295.00	8,496,000	
日本特殊陶業	10,000	2,073.00	20,730,000	
MARUWA	12,900	6,900.00	89,010,000	
黒崎播磨	4,600	5,700.00	26,220,000	
大紀アルミニウム	30,000	739.00	22,170,000	
アサヒHD	6,000	2,358.00	14,148,000	
日東精工	33,000	586.00	19,338,000	
東芝機械	1,800	2,272.00	4,089,600	
FUJI	1,100	1,580.00	1,738,000	
和井田製作所	57,200	1,266.00	72,415,200	
豊田自動織機	4,600	6,310.00	29,026,000	
ヒラノテクシード	5,000	1,372.00	6,860,000	
エヌ・ピー・シー	75,600	364.00	27,518,400	
平田機工	900	6,900.00	6,210,000	
タツモ	16,900	1,117.00	18,877,300	
瑞光	4,500	3,350.00	15,075,000	
技研製作所	25,900	3,290.00	85,211,000	
小松製作所	34,500	2,531.50	87,336,750	
タクミナ	7,900	1,660.00	13,114,000	
酒井重工業	4,200	2,835.00	11,907,000	

北越工業	19,100	1,256.00	23,989,600
兼松エンジニアリング	6,500	1,120.00	7,280,000
キトー	47,000	1,542.00	72,474,000
竹内製作所	42,800	1,679.00	71,861,200
日本ピラ - 工業	6,500	1,258.00	8,177,000
HANATOUR JAPAN	5,800	882.00	5,115,600
日本電産	200	15,075.00	3,015,000
日東工業	10,000	2,111.00	21,110,000
インスベック	40,000	1,642.00	65,680,000
アドテックプラズマテクノ	41,500	697.00	28,925,500
EIZO	6,500	3,885.00	25,252,500
ソニー	8,800	6,414.00	56,443,200
TDK	4,700	9,650.00	45,355,000
santec	4,000	1,931.00	7,724,000
アオイ電子	900	2,343.00	2,108,700
エスベック	39,000	1,882.00	73,398,000
キーエンス	800	67,380.00	53,904,000
デンソー	3,300	4,838.00	15,965,400
ファナック	700	20,090.00	14,063,000
ローム	2,900	8,450.00	24,505,000
村田製作所	23,100	5,121.00	118,295,100
北陸電気工業	12,000	1,024.00	12,288,000
日本タングステン	7,600	2,090.00	15,884,000
KOA	30,800	1,352.00	41,641,600
トヨタ自動車	8,600	7,461.00	64,164,600
太平洋工業	38,000	1,584.00	60,192,000
マツダ	19,500	975.50	19,022,250
本田技研	4,100	2,858.50	11,719,850
スズキ	6,500	4,652.00	30,238,000
ヤマハ発動機	12,700	1,940.00	24,638,000
日本精機	5,000	1,641.00	8,205,000
小野建	11,400	1,394.00	15,891,600
萩原電気HLDG S	11,500	2,721.00	31,291,500
アルビス	3,200	2,466.00	7,891,200
G - 7ホールディングス	7,100	3,125.00	22,187,500
ジーエフシー	5,300	1,529.00	8,103,700
ハンズマン	9,500	1,189.00	11,295,500
アートネイチャー	22,500	677.00	15,232,500
ピジョン	3,900	4,465.00	17,413,500
松風	10,500	1,513.00	15,886,500

コクヨ	13,500	1,485.00	20,047,500	
伊藤忠	20,900	2,303.00	48,132,700	
ゴ-ルドウイン	500	18,500.00	9,250,000	
タカチホ	3,800	1,500.00	5,700,000	
カチタス	24,500	4,665.00	114,292,500	
青山財産ネットワークス	8,200	1,550.00	12,710,000	
東海旅客鉄道	1,900	22,695.00	43,120,500	
阪急阪神HLDGS	2,200	4,325.00	9,515,000	
名古屋鉄道	9,000	3,405.00	30,645,000	
遠州トラック	17,600	1,616.00	28,441,600	
日本航空	1,100	3,389.00	3,727,900	
内外トランスライン	27,500	1,317.00	36,217,500	
ビジョン	2,300	4,850.00	11,155,000	
日本電信電話	5,900	5,339.00	31,500,100	
KDDI	13,800	2,946.50	40,661,700	
沖縄セルラー電話	4,500	3,645.00	16,402,500	
NTTドコモ	11,800	2,826.00	33,346,800	
ゼンリン	6,000	1,858.00	11,148,000	
エフオン	18,000	718.00	12,924,000	
エイチ・アイ・エス	4,100	2,735.00	11,213,500	
共立メンテナンス	15,500	4,535.00	70,292,500	
福井コンピュータHLD S	3,200	2,457.00	7,862,400	
因幡電機産業	4,500	4,995.00	22,477,500	
ファーストリテイリング	500	64,980.00	32,490,000	
合計			3,589,087,750	

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	103,094,531	59,521,759
コール・ローン	58,171,886	36,400,911
国債証券	26,358,178,334	24,854,884,612
特殊債券	977,286,204	961,437,354
派生商品評価勘定	27,152,866	18,051,011
未収入金	-	619,838,919
未収利息	248,312,989	197,135,259
前払費用	12,622,517	25,349,207
差入委託証拠金	128,438,670	122,602,944
流動資産合計	27,913,257,997	26,895,221,976
資産合計	27,913,257,997	26,895,221,976
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	19,545,263	20,725,361
未払金	-	646,173,558
未払解約金	40,641,745	25,890,620
その他未払費用	6	10
流動負債合計	60,187,014	692,789,549
負債合計	60,187,014	692,789,549
純資産の部		
元本等		
元本	1 16,342,082,124	15,417,257,799
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	11,510,988,859	10,785,174,628
元本等合計	27,853,070,983	26,202,432,427
純資産合計	27,853,070,983	26,202,432,427
負債純資産合計	27,913,257,997	26,895,221,976

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2019年4月11日 至 2019年10月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券及び特殊債券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額</p> <p>に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用</p> <p>しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
1. 1 期首	2018年10月11日	2019年4月11日
期首元本額	17,558,960,219円	16,342,082,124円
期中追加設定元本額	167,819,253円	161,068,289円

期中一部解約元本額	1,384,697,348円	1,085,892,614円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワF0Fs用外債ソブリン・オープン(適格機関投資家専用)	1,633,147,097円	1,562,168,556円
富山応援ファンド(地域企業株・外債バランス/毎月分配型)	591,609,143円	557,351,870円
ダイワ外債ソブリン・オープン(毎月分配型)	900,621,267円	864,394,371円
ダイワ・バランス3資産(外債・海外リート・好配当日本株)	46,121,169円	42,446,886円
安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	182,829,324円	169,814,727円
インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	324,947,187円	303,797,576円
成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	465,226,077円	419,228,912円
京都応援バランスファンド(隔月分配型)	209,095,158円	198,474,646円
6資産バランスファンド(分配型)	1,023,091,726円	984,216,133円
6資産バランスファンド(成長型)	116,559,837円	114,178,422円
ダイワ海外ソブリン・ファンド(毎月分配型)	6,991,416,203円	6,393,313,516円
世界6資産均等分散ファンド(毎月分配型)	63,271,677円	60,908,371円
ダイワ外債ソブリン・ファンド(毎月分配型)	261,871,971円	246,863,922円
兵庫応援バランスファンド(毎月分配型)	944,227,259円	997,940,906円
『しがぎん』SRI三資産バランス・オープン(奇数月分配型)	22,436,633円	22,319,241円
ダイワ・株/債券/コモディティ・バランスファンド	242,779,211円	226,210,245円
ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	991,801,359円	923,544,258円

	ダイワ海外ソブリン・ファンド(1年決算型)	13,932,756円	13,816,607円
	四国アライアンス 地域創生ファンド(年1回決算型)	901,464,948円	922,511,760円
	四国アライアンス 地域創生ファンド(年2回決算型)	415,632,122円	393,756,874円
計		16,342,082,124円	15,417,257,799円
2.	期末日における受益権の総数	16,342,082,124口	15,417,257,799口

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2019年4月11日 至 2019年10月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動、為替変動、金利変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。 信託財産の効率的な運用に資すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。

4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。
--------------------------------	--

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年10月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当期間の損益に 含まれた評価差額(円)
国債証券	1,178,334,600	1,225,874,197
特殊債券	46,199,013	18,250,705
合計	1,224,533,613	1,244,124,902

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間(2018年10月11日から2019年4月10日まで、及び2019年4月11日から2019年10月10日まで)を指しております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

種 類	2019年4月10日 現在				2019年10月10日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の 取引								
為替予約取引								
売 建	7,968,872,320	-	7,941,719,454	27,152,866	2,507,171,061	-	2,489,121,050	18,050,011
アメリカ・ドル	-	-	-	-	75,138,700	-	75,131,000	7,700
オーストラリア・ ドル	2,222,640,000	-	2,217,600,000	5,040,000	28,839,000	-	28,840,000	1,000
カナダ・ドル	4,439,890,235	-	4,422,908,638	16,981,597	2,048,185,151	-	2,038,808,406	9,376,745
スウェーデン・ クローナ	432,682,785	-	432,322,816	359,969	355,008,210	-	346,341,644	8,666,566
ユーロ	873,659,300	-	868,888,000	4,771,300	-	-	-	-
買 建	7,968,872,320	-	7,949,327,057	19,545,263	2,403,193,361	-	2,382,469,000	20,724,361
オーストラリア・ ドル	4,439,890,235	-	4,433,240,000	6,650,235	2,048,185,151	-	2,032,938,000	15,247,151
カナダ・ドル	2,222,640,000	-	2,213,644,255	8,995,745	-	-	-	-
スウェーデン・ クローナ	873,659,300	-	870,502,802	3,156,498	-	-	-	-
ノルウェー・ クローネ	-	-	-	-	355,008,210	-	349,531,000	5,477,210
ユーロ	432,682,785	-	431,940,000	742,785	-	-	-	-
合計	15,937,744,640	-	15,891,046,511	7,607,603	4,910,364,422	-	4,871,590,050	2,674,350

（注） 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
1口当たり純資産額	1.7044円	1.6996円
(1万口当たり純資産額)	(17,044円)	(16,996円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	アメリカ・ドル	2.25% United States Treasury Note/Bond 20251115	8,000,000.000	8,353,120.000	
		1.625% United States Treasury Note/Bond 20260215	15,000,000.000	15,120,600.000	
		2.5% United States Treasury Note/Bond 20460215	13,100,000.000	14,220,574.000	
		1.375% United States Treasury Note/Bond 20210430	14,500,000.000	14,454,615.000	

	2.375% United States Treasury Note/Bond 20240229	8,000,000.000	8,323,120.000	
アメリカ・ドル 小計			アメリカ・ドル 60,472,029.000 (6,492,881,754)	
イギリス・ポ ンド	1.5% United Kingdom Gilt 20260722	4,500,000.000	4,882,230.000	
	1.625% United Kingdom Gilt 20281022	3,200,000.000	3,555,328.000	
	5% United Kingdom Gilt 20250307	9,300,000.000	11,667,501.000	
	4.25% United Kingdom Gilt 20461207	1,000,000.000	1,786,200.000	
	4% United Kingdom Gilt 20220307	1,500,000.000	1,634,040.000	
イギリス・ポンド 小計			イギリス・ポンド 23,525,299.000 (3,086,519,229)	
オーストラ リア・ドル	4.5% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20200415	7,000,000.000	7,137,760.000	
	4.75% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20270421	5,700,000.000	7,350,891.000	
	3.25% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20290421	2,900,000.000	3,529,445.000	
	4.5% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20330421	19,000,000.000	27,435,620.000	
オーストラリア・ドル 小計			オーストラリア・ドル 45,453,716.000 (3,278,121,998)	
カナダ・ドル	3.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20451201	1,500,000.000	2,137,800.000	
	2.25% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20250601	11,500,000.000	12,085,465.000	
	1.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20260601	13,500,000.000	13,670,235.000	
カナダ・ドル 小計			カナダ・ドル	

			27,893,500.000 (2,245,147,815)	
スウェーデン・クローナ	1.5% SWEDISH GOVERNMENT BOND 20231113	スウェーデン・クローナ 27,000,000.000	スウェーデン・クローナ 29,450,250.000	
スウェーデン・クローナ 小計			スウェーデン・クローナ 29,450,250.000 (317,768,198)	
デンマーク・クローネ	4.5% DANISH GOVERNMENT BOND 20391115	デンマーク・クローネ 5,500,000.000	デンマーク・クローネ 11,046,310.000	
	1.75% DANISH GOVERNMENT BOND 20251115	33,000,000.000	38,136,780.000	
デンマーク・クローネ 小計			デンマーク・クローネ 49,183,090.000 (776,109,160)	
ノルウェー・クローネ	3.75% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20210525	ノルウェー・クローネ 15,000,000.000	ノルウェー・クローネ 15,636,000.000	
	2% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20230524	4,000,000.000	4,124,080.000	
	3% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20240314	20,000,000.000	21,645,800.000	
ノルウェー・クローネ 小計			ノルウェー・クローネ 41,405,880.000 (484,448,796)	
ポーランド・ズロチ	1.75% Poland Government Bond 20210725	ポーランド・ズロチ 28,000,000.000	ポーランド・ズロチ 28,141,960.000	
	2.75% Poland Government Bond 20291025	6,000,000.000	6,475,080.000	
	5.75% Poland Government Bond 20211025	14,000,000.000	15,194,060.000	
	2.75% Poland Government Bond 20280425	18,000,000.000	19,266,660.000	
ポーランド・ズロチ 小計			ポーランド・ズロチ 69,077,760.000	

				(1,883,750,515)
	ユーロ		ユーロ	ユーロ
		2.5% GERMAN GOVERNMENT BOND 20460815	1,500,000.000	2,559,300.000
		3.25% FRENCH GOVERNMENT BOND 20450525	5,200,000.000	8,767,564.000
		3.75% Belgium Government Bond 20450622	1,500,000.000	2,705,895.000
		1% IRISH TREASURY 20260515	6,600,000.000	7,150,506.000
		1.1% IRISH TREASURY 20290515	3,600,000.000	3,981,024.000
		1.95% SPANISH GOVERNMENT BOND 20260430	15,000,000.000	17,040,450.000
		1.4% SPANISH GOVERNMENT BOND 20280430	10,000,000.000	11,160,300.000
	ユーロ 小計			ユーロ 53,365,039.000 (6,290,137,147)
国債証券 合計				24,854,884,612 [24,854,884,612]
特殊債券	カナダ・ドル		カナダ・ドル	カナダ・ドル
		2.55% CANADA HOUSING TRUST 20250315	4,500,000.000	4,709,115.000
		2.25% CANADA HOUSING TRUST 20251215	7,000,000.000	7,235,690.000
	カナダ・ドル 小計			カナダ・ドル 11,944,805.000 (961,437,354)
特殊債券 合計				961,437,354 [961,437,354]
合計				25,816,321,966 [25,816,321,966]

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における()内の金額は、邦貨換算額であります。
2. 合計欄における[]内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	国債証券 5銘柄	100%	25.1%
イギリス・ポンド	国債証券 5銘柄	100%	12.0%
オーストラリア・ドル	国債証券 4銘柄	100%	12.7%

カナダ・ドル	国債証券	3銘柄	100%	12.4%
	特殊債券	2銘柄		
スウェーデン・クローナ	国債証券	1銘柄	100%	1.2%
デンマーク・クローネ	国債証券	2銘柄	100%	3.0%
ノルウェー・クローネ	国債証券	3銘柄	100%	1.9%
ポーランド・ズロチ	国債証券	4銘柄	100%	7.3%
ユーロ	国債証券	7銘柄	100%	24.4%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

「ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	84,220,522	101,560,217
コール・ローン	902,131,256	68,780,358
国債証券	17,543,646,281	32,784,731,972
地方債証券	1,467,392,143	1,789,722,517
特殊債券	2,415,752,755	2,086,386,748
社債券	4,068,015,398	8,062,963,702
派生商品評価勘定	131,100	194,246,799
未収入金	-	440,424,135
未収利息	155,431,197	248,215,337
前払費用	26,584,911	39,765,917
差入委託証拠金	14,173,528	13,793,939
流動資産合計	26,677,479,091	45,830,591,641
資産合計	26,677,479,091	45,830,591,641
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	95,394,643	31,126,592

未払金	-	437,601,690
未払解約金	4,685,000	18,179,320
その他未払費用	345	5,956
流動負債合計	100,079,988	486,913,558
負債合計	100,079,988	486,913,558
純資産の部		
元本等		
元本	1	24,136,336,706
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	2,441,062,397	6,618,360,378
元本等合計	26,577,399,103	45,343,678,083
純資産合計	26,577,399,103	45,343,678,083
負債純資産合計	26,677,479,091	45,830,591,641

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2019年4月11日 至 2019年10月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(但し、売気配相場は使用しない)、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	為替予約取引

3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p> <p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
----------------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
1. 1 期首	2018年10月11日	2019年4月11日
期首元本額	21,965,522,756円	24,136,336,706円
期中追加設定元本額	3,560,624,648円	18,526,919,892円
期中一部解約元本額	1,389,810,698円	3,937,938,893円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ネオ・ヘッジ付債券ファンド （FOFs用）（適格機関投資家 専用）	22,034,657,186円	36,812,204,127円
四国アライアンス 地域創生 ファンド（年1回決算型）	1,392,267,229円	1,339,563,058円
四国アライアンス 地域創生 ファンド（年2回決算型）	646,105,939円	573,550,520円
目標利回り追求型債券ファン ド	63,306,352円	- 円
計	24,136,336,706円	38,725,317,705円

2. 期末日における受益権の総数	24,136,336,706口	38,725,317,705口
------------------	-----------------	-----------------

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2019年4月11日 至 2019年10月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動、為替変動、金利変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。外貨建資産について為替変動リスクを回避すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年10月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額(円)	当期間の損益に含まれた評価差額(円)
国債証券	453,803,691	1,134,967,381
地方債証券	75,203,948	14,850,405
特殊債券	54,755,125	22,758,663
社債券	140,595,374	237,470,674
合計	724,358,138	1,410,047,123

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間(2018年6月16日から2019年4月10日まで、及び2019年6月18日から2019年10月10日まで)を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

種 類	2019年4月10日 現在				2019年10月10日 現在			
	契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の取引								

為替予約取引								
売 建	25,668,804,857	-	25,764,068,400	95,263,543	45,016,398,407	-	44,853,278,200	163,120,207
アメリカ・ドル	7,159,483,540	-	7,171,450,000	11,966,460	11,372,159,680	-	11,362,456,000	9,703,680
イギリス・ポンド	204,818,173	-	205,573,400	755,227	669,003,352	-	656,917,200	12,086,152
オーストラリア・ドル	1,309,102,948	-	1,324,512,000	15,409,052	2,722,683,750	-	2,695,500,000	27,183,750
カナダ・ドル	2,591,246,764	-	2,607,142,000	15,895,236	2,695,172,920	-	2,675,674,000	19,498,920
スウェーデン・クローナ	1,783,055,637	-	1,812,309,000	29,253,363	2,341,618,796	-	2,283,164,000	58,454,796
ポーランド・ズロチ	435,654,555	-	436,350,000	695,445	2,616,761,408	-	2,647,888,000	31,126,592
メキシコ・ペソ	455,960,565	-	471,744,000	15,783,435	1,378,610,816	-	1,370,424,000	8,186,816
ユーロ	11,729,482,675	-	11,734,988,000	5,505,325	21,220,387,685	-	21,161,255,000	59,132,685
合計	25,668,804,857	-	25,764,068,400	95,263,543	45,016,398,407	-	44,853,278,200	163,120,207

(注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2019年4月10日現在	2019年10月10日現在
--	--------------	---------------

1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.1011円 (11,011円)	1.1709円 (11,709円)
---------------------------	----------------------	----------------------

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	アメリカ・ドル	3.5% United States Treasury Note/Bond 20390215	アメリカ・ドル 1,000,000.000	アメリカ・ドル 1,263,430.000	
		2.375% United States Treasury Note/Bond 20270515	6,000,000.000	6,372,600.000	
		3% United States Treasury Note/Bond 20490215	25,000,000.000	30,019,500.000	
		2.375% United States Treasury Note/Bond 20240229	30,900,000.000	32,148,051.000	
		4% Mexico Government International Bond 20231002	1,100,000.000	1,165,219.000	
		4.5% Mexico Government International Bond 20290422	2,000,000.000	2,193,020.000	
		アメリカ・ドル 小計		アメリカ・ドル 73,161,820.000 (7,855,384,614)	
ポーランド・ズ ロチ		2.75% Poland Government Bond 20291025	ポーランド・ズロチ 10,000,000.000	ポーランド・ズロチ 10,791,800.000	
		2.75% Poland Government Bond 20280425	80,000,000.000	85,629,600.000	
ポーランド・ズロチ 小計			ポーランド・ズロチ 96,421,400.000 (2,629,411,578)		
メキシコ・ペソ		7.5% Mexican Bonos 20270603	メキシコ・ペソ 83,000,000.000	メキシコ・ペソ 86,911,790.000	
		8.5% Mexican Bonos 20290531	150,000,000.000	168,753,000.000	
メキシコ・ペソ 小計			メキシコ・ペソ 255,664,790.000		

				(1,401,043,049)	
	ユーロ		ユーロ	ユーロ	
		1% FRENCH GOVERNMENT BOND 20270525	4,000,000.000	4,439,120.000	
		2.75% NETHERLANDS GOVERNMENT BOND 20470115	4,000,000.000	7,055,080.000	
		2% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20251201	1,600,000.000	1,750,896.000	
		1.45% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20220915	55,000,000.000	57,415,600.000	
		0.95% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20230315	22,300,000.000	22,994,868.000	
		4.5% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20240301	20,400,000.000	24,229,692.000	
		3.75% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20240901	9,500,000.000	11,094,860.000	
		1.5% SPANISH GOVERNMENT BOND 20270430	8,000,000.000	8,921,520.000	
		1.4% SPANISH GOVERNMENT BOND 20280430	26,000,000.000	29,016,780.000	
		2.75% SPANISH GOVERNMENT BOND 20241031	9,000,000.000	10,386,180.000	
	ユーロ 小計			ユーロ 177,304,596.000 (20,898,892,731)	
国債証券 合計				32,784,731,972 [32,784,731,972]	
地方債証券	カナダ・ドル	2.9% ONTARIO PROVINCE 20280602	16,000,000.000	17,148,640.000	
		2.2% Province of Alberta Canada 20260601	5,000,000.000	5,086,700.000	
	カナダ・ドル 小計			カナダ・ドル 22,235,340.000 (1,789,722,517)	
地方債証券 合計				1,789,722,517 [1,789,722,517]	
特殊債券	イギリス・ポンド	1.625% BNG Bank NV 20250826	3,500,000.000	イギリス・ポンド 3,673,425.000	

イギリス・ポンド 小計			イギリス・ポンド	
			3,673,425.000	
			(481,953,359)	
カナダ・ドル	2.65% CANADA HOUSING TRUST 20281215	カナダ・ドル	カナダ・ドル	
		10,000,000.000	10,768,200.000	
カナダ・ドル 小計			カナダ・ドル	
			10,768,200.000	
			(866,732,418)	
スウェーデン・ クローナ	1% Kommuninvest I Sverige AB 20250512	スウェーデン・クローナ	スウェーデン・クローナ	
		65,000,000.000	68,368,950.000	
スウェーデン・クローナ 小計			スウェーデン・クローナ	
			68,368,950.000	
			(737,700,971)	
特殊債券 合計			2,086,386,748	
			[2,086,386,748]	
社債券	アメリカ・ドル	アメリカ・ドル	アメリカ・ドル	
	2.7% JPMorgan Chase & Co 20230518	500,000.000	510,535.000	
	6.2% Wal-Mart Stores Inc 20380415	100,000.000	149,726.000	
	3.5% Kraft Foods Group Inc 20220606	300,000.000	309,867.000	
	3.875% GlaxoSmithKline Capital Inc 20280515	1,500,000.000	1,680,300.000	
	3.5% HSBC USA Inc 20240623	300,000.000	318,831.000	
	3.25% Credit Agricole SA/London 20241004	1,000,000.000	1,036,150.000	
	3% MetLife Inc 20250301	300,000.000	312,927.000	
	2.4% Microsoft Corp 20260808	1,000,000.000	1,026,760.000	
	3.3% International Business Machines Corp 20260515	1,000,000.000	1,064,230.000	
	4.375% BNP Paribas SA 20250928	2,000,000.000	2,149,320.000	
	3.15% ING Groep NV 20220329	1,000,000.000	1,026,330.000	
	2.998% Mitsubishi UFJ Financial Group Inc 20220222	1,000,000.000	1,021,320.000	
	3.1% Boeing Co/The 20260501	2,000,000.000	2,106,440.000	

2.846% Sumitomo Mitsui Financial Group Inc 20220111	500,000.000	508,640.000	
4.3% HSBC Holdings PLC 20260308	2,000,000.000	2,162,580.000	
2.75% Bayer US Finance II LLC 20210715	400,000.000	401,808.000	
3.8% McDonald's Corp 20280401	1,500,000.000	1,643,130.000	
3.875% CITIGROUP INC 20250326	500,000.000	528,455.000	
FR 3.887% CITIGROUP INC 20280110	2,000,000.000	2,153,760.000	
FR 3.593% BANK OF AMERICA CORP. 20280721	3,000,000.000	3,181,590.000	
4.125% Wells Fargo & Co 20230815	200,000.000	213,266.000	
4.6% Wells Fargo & Co 20210401	200,000.000	207,562.000	
4.1% Wells Fargo & Co 20260603	3,000,000.000	3,228,150.000	
3.75% MORGAN STANLEY 20230225	200,000.000	210,124.000	
3.875% MORGAN STANLEY 20260127	1,000,000.000	1,075,690.000	
4% GOLDMAN SACHS GROUP INC. 20240303	200,000.000	214,120.000	
3% GOLDMAN SACHS GROUP INC. 20220426	300,000.000	303,753.000	
3.375% BPCE SA 20261202	1,000,000.000	1,063,370.000	
4.5% BPCE SA 20250315	1,000,000.000	1,068,810.000	
4.8% ABN AMRO Bank NV 20260418	1,000,000.000	1,091,010.000	
4.2% Mizuho Financial Group Cayman 2 Ltd 20220718	500,000.000	521,260.000	
アメリカ・ドル 小計		アメリカ・ドル 32,489,814.000 (3,488,431,329)	
イギリス・ポ ンド	イギリス・ポンド	イギリス・ポンド	
6.625% Aegon NV 20391216	200,000.000	336,560.000	
3.75% InterContinental Hotels Group PLC 20250814	1,000,000.000	1,102,300.000	
イギリス・ポンド 小計		イギリス・ポンド	

			1,438,860.000 (188,778,432)	
オーストラリア・ドル		オーストラリア・ドル	オーストラリア・ドル	
	FR 4.215% JPMorgan Chase & Co 20290522	2,000,000.000	2,297,280.000	
	FR 2.9% Standard Chartered PLC 20250628	2,000,000.000	2,032,520.000	
	4.6% AT&T Inc 20280919	2,000,000.000	2,339,680.000	
	FR 4.2% Credit Agricole SA 20340529	2,000,000.000	2,149,800.000	
	4.7% Societe Generale SA 20280920	1,000,000.000	1,154,470.000	
	4.875% Societe Generale SA 20261013	2,000,000.000	2,236,880.000	
	5.244% Barclays PLC 20280615	2,000,000.000	2,357,620.000	
	4% Barclays PLC 20290626	4,000,000.000	4,312,120.000	
	3.25% FBG Finance Pty Ltd 20220906	2,000,000.000	2,103,140.000	
	4.75% Lloyds Banking Group PLC 20280523	2,000,000.000	2,301,760.000	
	4.5% Verizon Communications Inc 20270817	3,500,000.000	4,095,420.000	
	3.6% Apple Inc 20260610	1,400,000.000	1,579,858.000	
	4.5% BPCE SA 20280426	3,500,000.000	3,984,785.000	
	4.2% VODAFONE GROUP 20271213	2,000,000.000	2,258,280.000	
	4.2% AusNet Services Holdings Pty Ltd 20280821	1,800,000.000	2,132,280.000	
オーストラリア・ドル 小計			オーストラリア・ドル 37,335,893.000 (2,692,664,603)	
スウェーデン・クローナ		スウェーデン・クローナ	スウェーデン・クローナ	
	2% Sveriges Sakerstallda Obligationer AB 20260617	70,000,000.000	78,187,200.000	
	1.25% Lansforsakringar Hypotek AB 20250917	60,000,000.000	63,852,000.000	
スウェーデン・クローナ 小計			スウェーデン・クローナ 142,039,200.000 (1,532,602,968)	
ユーロ		ユーロ	ユーロ	

		0.95% International Business Machines Corp 20250523	1,000,000.000	1,048,660.000	
		1% BMW FINANCE NV 20250121	300,000.000	312,894.000	
	ユーロ 小計			ユーロ 1,361,554.000 (160,486,370)	
社債券 合計				8,062,963,702 [8,062,963,702]	
合計				44,723,804,939 [44,723,804,939]	

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における()内の金額は、邦貨換算額であります。
2. 合計欄における[]内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	国債証券 6銘柄	100%	25.4%
	社債券 31銘柄		
イギリス・ポンド	特殊債券 1銘柄	100%	1.5%
	社債券 2銘柄		
オーストラリア・ドル	社債券 15銘柄	100%	6.0%
カナダ・ドル	地方債証券 2銘柄	100%	5.9%
	特殊債券 1銘柄		
スウェーデン・クローナ	特殊債券 1銘柄	100%	5.1%
	社債券 2銘柄		
ポーランド・ズロチ	国債証券 2銘柄	100%	5.9%
メキシコ・ペソ	国債証券 2銘柄	100%	3.1%
ユーロ	国債証券 10銘柄	100%	47.1%
	社債券 2銘柄		

第2 信用取引契約残高明細表
該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

2 【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

2019年9月30日

資産総額	2,734,603,026円
負債総額	19,214,493円
純資産総額（ - ）	2,715,388,533円
発行済数量	2,726,923,183口
1単位当たり純資産額（ / ）	0.9958円

(参考) 四国応援マザーファンド

純資産額計算書

2019年9月30日

資産総額	2,244,692,160円
負債総額	11,803,117円
純資産総額（ - ）	2,232,889,043円
発行済数量	2,212,731,136口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.0091円

(参考) 地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）

純資産額計算書

2019年9月30日

資産総額	2,262,992,096円
負債総額	2,831,490円
純資産総額（ - ）	2,260,160,606円
発行済数量	2,373,602,933口
1単位当たり純資産額（ / ）	0.9522円

参考情報 地方創生マザーファンド

純資産額計算書

2019年9月30日

資産総額	3,722,744,385円
負債総額	2,700,329円
純資産総額(-)	3,720,044,056円
発行済数量	2,903,582,788口
1単位当たり純資産額(/)	1.2812円

(参考) ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

純資産額計算書

2019年9月30日

資産総額	26,410,609,089円
負債総額	45,096,841円
純資産総額(-)	26,365,512,248円
発行済数量	15,470,141,118口
1単位当たり純資産額(/)	1.7043円

(参考) ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド

純資産額計算書

2019年9月30日

資産総額	49,251,460,423円
負債総額	63,439,758円
純資産総額(-)	49,188,020,665円
発行済数量	42,098,917,261口
1単位当たり純資産額(/)	1.1684円

第4 【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 名義書換えの手続き等

該当事項はありません。

(2) 受益者に対する特典

ありません。

(3) 譲渡制限の内容

譲渡制限はありません。

(4) 受益証券の再発行

受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

(5) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(6) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

(7) 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

受益権の再分割を行なうにあたり、各受益者が保有する受益権口数に1口未満の端数が生じることとなる場合には、当該端数を切り捨てるものとし、当該端数処理は口座管理機関ごとに行ないます。また、各受益者が保有することとなる受益権口数の合計数と、受益権の再分割の比率に基づき委託会社が計算する受益権口数の合計数との間に差が生じることとなる場合には、委託会社が計算する受益権口数を当該差分減らし、当該口数にかかる金額については益金として計上することとします。

(8) 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された

受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として、)に支払います。

(9) 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

第二部 【委託会社等の情報】

第1 【委託会社等の概況】

1 【委託会社等の概況】

a. 資本金の額

2019年9月末日現在

資本金の額 151億7,427万2,500円

発行可能株式総数 799万9,980株

発行済株式総数 260万8,525株

過去5年間ににおける資本金の額の増減：該当事項はありません。

b. 委託会社の機構

会社の意思決定機構

業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役は、株主総会において選任され、その任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでです。

取締役会は、4名以内の代表取締役を選定し、代表取締役は、会社を代表し、取締役会の決議にしたがい業務を執行します。

また、取締役、役付執行役員等から構成される経営会議は、経営全般にかかる基本的事項を審議し、決定します。経営会議は、分科会を設置し、専門的な事項についてはその権限を委ねることができます。

投資運用の意思決定機構

投資運用の意思決定機構の概要は、以下のとおりとなっています。

イ. ファンド個別会議

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を経営会議の分科会であるファンド個別会議において審議・決定します。

ロ. 投資環境検討会

運用最高責任者であるCIO (Chief Investment Officer) が議長となり、原則として月1回投資環境検討会を開催し、投資環境について検討します。

ハ. 運用会議

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ニ. 運用部長・ファンドマネージャー

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

ホ. ファンド評価会議、運用審査会議、リスクマネジメント会議および執行役員会議

・ファンド評価会議

運用実績・運用リスクの状況について、分析・検討を行ない、運用部にフィードバックします。

・運用審査会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用実績の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

・リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

・執行役員会議

経営会議の分科会として、法令等の遵守状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

2 【事業の内容及び営業の概況】

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務等の関連する業務を行なっています。

2019年9月末日現在、委託会社が運用を行なっている投資信託（親投資信託を除きます。）は次のとおりです。

基本的性格	本数（本）	純資産額の合計額（百万円）
単位型株式投資信託	63	119,570
追加型株式投資信託	712	15,788,257
株式投資信託 合計	775	15,907,827
単位型公社債投資信託	28	94,090
追加型公社債投資信託	14	1,400,808
公社債投資信託 合計	42	1,494,898
総合計	817	17,402,725

3 【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。)並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)に基づいて作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の財務諸表についての監査を、有限責任 あずさ監査法人により受けております。
3. 財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 【貸借対照表】

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	28,709	28,489
有価証券	0	554
前払費用	201	214
未収委託者報酬	12,368	11,468
未収収益	82	98
その他	47	56
流動資産計	41,410	40,882
固定資産		
有形固定資産	1	206
建物	12	10
器具備品	200	195
無形固定資産	2,614	2,821
ソフトウェア	2,456	2,804
ソフトウェア仮勘定	158	17
投資その他の資産	15,066	12,799
投資有価証券	8,600	8,493
関係会社株式	5,129	1,836
出資金	183	183
長期差入保証金	1,072	1,070
繰延税金資産	1,078	1,183
その他	34	31
固定資産計	18,927	15,827
資産合計	60,337	56,709

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	65	75
未払金	9,747	8,548
未払収益分配金	8	15
未払償還金	59	40
未払手数料	5,202	4,610
その他未払金	2 4,476	2 3,882
未払費用	4,148	3,735
未払法人税等	850	726
未払消費税等	583	255
賞与引当金	1,012	725
その他	335	2
流動負債計	16,744	14,070
固定負債		
退職給付引当金	2,350	2,389
役員退職慰労引当金	125	103
その他	5	2
固定負債計	2,481	2,496
負債合計	19,225	16,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,174	15,174
資本剰余金		
資本準備金	11,495	11,495
資本剰余金合計	11,495	11,495
利益剰余金		
利益準備金	374	374
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	13,850	13,052
利益剰余金合計	14,225	13,426
株主資本合計	40,895	40,096
評価・換算差額等		

その他有価証券評価差額金	216	46
評価・換算差額等合計	216	46
純資産合計	41,112	40,142
負債・純資産合計	60,337	56,709

(2) 【損益計算書】

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	82,510	76,052
その他営業収益	733	673
営業収益計	83,244	76,725
営業費用		
支払手数料	40,392	35,789
広告宣伝費	673	694
調査費	9,816	9,066
調査費	955	1,057
委託調査費	8,860	8,009
委託計算費	839	1,351
営業雑経費	1,579	1,557
通信費	249	228
印刷費	500	513
協会費	53	55
諸会費	13	13
その他営業雑経費	762	746
営業費用計	53,300	48,459
一般管理費		
給料	5,840	5,755
役員報酬	377	373
給料・手当	3,973	4,145
賞与	477	510
賞与引当金繰入額	1,012	725
福利厚生費	788	796
交際費	55	64
旅費交通費	195	178
租税公課	501	472
不動産賃借料	1,281	1,291
退職給付費用	316	374

役員退職慰労引当金繰入額	46	34
固定資産減価償却費	977	907
諸経費	1,528	1,819
一般管理費計	11,531	11,693
営業利益	18,411	16,572

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31 日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業外収益		
投資有価証券売却益	210	215
有価証券償還益	17	133
その他	130	172
営業外収益計	359	521
営業外費用		
投資有価証券売却損	0	40
有価証券償還損	3	32
その他	25	60
営業外費用計	29	132
経常利益	18,741	16,961
特別損失		
関係会社整理損失	333	29
特別損失計	333	29
税引前当期純利益	18,407	16,931
法人税、住民税及び事業税	5,843	5,076
法人税等調整額	106	15
法人税等合計	5,737	5,060
当期純利益	12,670	11,870

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		利益剰余金 合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金			繰越利益 剰余金

当期首残高	15,174	11,495	374	12,231	12,606	39,276
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	-	480	480	480
会計方針の変更を反映した当期首残高	15,174	11,495	374	12,712	13,086	39,756
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	11,532	11,532	11,532
当期純利益	-	-	-	12,670	12,670	12,670
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	1,138	1,138	1,138
当期末残高	15,174	11,495	374	13,850	14,225	40,895

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	264	264	39,540
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	480
会計方針の変更を反映した当期首残高	264	264	40,021
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	11,532
当期純利益	-	-	12,670
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	47	47	47
当期変動額合計	47	47	1,090
当期末残高	216	216	41,112

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					株主資本合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		利益剰余金合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
				繰越利益剰余金			

当期首残高	15,174	11,495	374	13,850	14,225	40,895
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	-	-	-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	15,174	11,495	374	13,850	14,225	40,895
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	12,669	12,669	12,669
当期純利益	-	-	-	11,870	11,870	11,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	798	798	798
当期末残高	15,174	11,495	374	13,052	13,426	40,096

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	216	216	41,112
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	216	216	41,112
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	12,669
当期純利益	-	-	11,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	170	170	170
当期変動額合計	170	170	969
当期末残高	46	46	40,142

注記事項

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物	10～18年
器具備品	4～20年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年間)に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて各事業年度毎に各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与についても、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

5. 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(会計方針の変更)

(税効果会計に係る会計基準の適用指針の適用)

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日)を当事業年度の期首から適用しており、子会社株式等に対する投資に係る将来加算一時差異に基づく繰延税金負債を過年度に遡及して取り崩した結果、貸借対照表の繰延税金負債が480百万円減少し、株主資本等変動計算書の繰越利益剰余金の遡及適用後の前事業年度期首残高が480百万円増加しております。

（未適用の会計基準等）

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日）

（1）概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

（2）適用予定日

当財務諸表の作成時において検討中であります。

（3）当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表の作成時において評価中であります。

（表示方法の変更）

（『税効果会計に係る会計基準』の一部改正の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当事業年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（損益計算書）

前事業年度において、「営業外収益」に独立掲記しておりました「受取配当金」は、金額的重要性が乏しいため、当事業年度より「営業外収益」の「その他」としております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の財務諸表において、「営業外収益」に表示していた「受取配当金」75百万円、「その他」55百万円は、「その他」130百万円として組替えております。

前事業年度において、「営業外費用」の「その他」に含めておりました「有価証券償還損」は、営業外費用の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の財務諸表において、「営業外費用」の「その他」に表示していた29百万円は、「有価証券償還損」3百万円、「その他」25百万円として組替えております。

（貸借対照表関係）

1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
建物	29百万円	31百万円

器具備品

235百万円

264百万円

2 関係会社項目

関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
未払金	4,406百万円	3,788百万円

3 保証債務

前事業年度(2018年3月31日)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,701百万円に対して保証を行っております。

当事業年度(2019年3月31日)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,719百万円に対して保証を行っております。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自2017年4月1日至2018年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位:千株)

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額(百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2017年6月26日 定時株主総会	普通株式	11,532	4,421	2017年 3月31日	2017年 6月27日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2018年6月25日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	12,669百万円
配当の原資	利益剰余金

1株当たり配当額	4,857円
基準日	2018年3月31日
効力発生日	2018年6月26日

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

（1）配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額（百万円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
2018年6月25日 定時株主総会	普通株式	12,669	4,857	2018年 3月31日	2018年 6月26日

（2）基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2019年6月21日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	11,868百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,550円
基準日	2019年3月31日
効力発生日	2019年6月24日

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。

（2）金融商品の内容及びそのリスク

証券投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、証券投資信託、株式であります。証券投資信託は事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されております。株式は上場株式、非上場株式並びに子会社株式を保有しており、上場株式

は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式及び子会社株式は発行体の信用リスクに晒されておりま。

未払手数料は証券投資信託の販売に係る代行手数料の未払額であります。その他未払金は主に連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

市場リスクの管理

() 為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っております。

() 価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません(注2)参照のこと)。

前事業年度(2018年3月31日)

(単位:百万円)

	貸借対照表	計上額(*1)	時価(*1)	差額
(1) 現金・預金		28,709	28,709	-
(2) 未収委託者報酬		12,368	12,368	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券		7,631	7,631	-
資産計		48,709	48,709	-
(1) 未払手数料		(5,202)	(5,202)	-
(2) その他未払金		(4,476)	(4,476)	-
(3) 未払費用(*2)		(3,286)	(3,286)	-
負債計		(12,965)	(12,965)	-

(*1) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(*2) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

当事業年度(2019年3月31日)

(単位:百万円)

	貸借対照表	計上額(*1)	時価(*1)	差額
(1) 現金・預金		28,489	28,489	-

(2) 未収委託者報酬	11,468	11,468	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	8,380	8,380	-
資産計	48,338	48,338	-
(1) 未払手数料	(4,610)	(4,610)	-
(2) その他未払金	(3,882)	(3,882)	-
(3) 未払費用(*2)	(2,805)	(2,805)	-
負債計	(11,298)	(11,298)	-

(*1) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(*2) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金・預金、並びに(2) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、証券投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項(有価証券関係)をご参照下さい。

負 債

(1) 未払手数料、(2) その他未払金、並びに(3) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：百万円)

区分	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
(1) その他有価証券 非上場株式	970	666
(2) 子会社株式及び関連会社株式 非上場株式	5,129	1,836
(3) 長期差入保証金	1,072	1,070

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

(注3) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(2018年3月31日)

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	28,709	-	-	-
未収委託者報酬	12,368	-	-	-

有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	0	5,302	1,801	117
合計	41,078	5,302	1,801	117

当事業年度(2019年3月31日)

(単位:百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	28,489	-	-	-
未収委託者報酬	11,468	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	554	4,284	2,227	1,227
合計	40,512	4,284	2,227	1,227

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

前事業年度(2018年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 5,129百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

当事業年度(2019年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 1,836百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

2. その他有価証券

前事業年度(2018年3月31日)

	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1) 株式	134	55	79
(2) その他 証券投資信託	4,196	3,740	456
小計	4,331	3,795	535
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他 証券投資信託	3,299	3,522	223
小計	3,299	3,522	223
合計	7,631	7,318	312

(注)非上場株式(貸借対照表計上額 970百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当事業年度(2019年3月31日)

	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1)株式	87	55	32
(2)その他 証券投資信託	4,991	4,712	278
小計	5,079	4,767	311
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他 証券投資信託	3,301	3,560	258
小計	3,301	3,560	258
合計	8,380	8,328	52

(注)非上場株式(貸借対照表計上額 666百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 売却したその他有価証券

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1)株式	-	-	-
(2)その他 証券投資信託	1,963	210	0
合計	1,963	210	0

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1)株式	389	86	-
(2)その他 証券投資信託	3,517	128	40
合計	3,907	215	40

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、該当事項はありません。

当事業年度において、該当事項はありません。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、非積立型の確定給付制度（退職一時金制度であります）及び確定拠出制度を採用しております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	前事業年度	当事業年度
	(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
退職給付債務の期首残高	2,318百万円	2,350百万円
勤務費用	159	158
退職給付の支払額	166	171
その他	38	52
退職給付債務の期末残高	2,350	2,389

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	前事業年度	当事業年度
	(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	2,350百万円	2,389百万円
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	2,350	2,389
退職給付引当金	2,350	2,389
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	2,350	2,389

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	前事業年度	当事業年度
	(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
勤務費用	159百万円	158百万円
その他	24	41
確定給付制度に係る退職給付費用	184	199

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度171百万円、当事業年度174百万円であります。

（税効果会計関係）

1．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

（単位：百万円）

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
繰延税金資産		
退職給付引当金		731
	719	
賞与引当金	244	182
システム関連費用	16	170
未払事業税	162	141
出資金評価損	94	94
投資有価証券評価損	68	32
その他	297	240
繰延税金資産小計	1,602	1,592
評価性引当額	200	164
繰延税金資産合計	1,402	1,428
繰延税金負債		
連結法人間取引（譲渡益）	159	159
その他有価証券評価差額金	164	85
繰延税金負債合計	323	244
繰延税金資産の純額	1,078	1,183

(注)「会計方針の変更」に記載のとおり、当事業年度における会計方針の変更は遡及適用され、前事業年度については遡及適用後の財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前事業年度の繰延税金負債の連結法人間取引（譲渡益）は480百万円減少しております。

2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

前事業年度（2018年3月31日）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

当事業年度（2019年3月31日）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[関連情報]

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

内国籍証券投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(ア) 財務諸表提出会社の子会社

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有) 直接100.0	経営管理	債務保証 (注)	1,701	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有)直接100.0	経営管理	債務保証(注1)	1,719	-	-
子会社	Daiwa Portfolio Advisory (India) Private Ltd.	India	1,207	金融商品取引業	(所有)直接91.0	経営管理	有償減資(注2)	3,293	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

(注2) 当該子会社における株主総会決議及びインド会社法法廷の承認に基づき払戻しを受けております。

(イ) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)(注1)	科目	期末残高(百万円)(注1)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料(注2)	23,216	未払手数料	3,913
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	1,020	未払費用	233
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	1,048	長期差入保証金	1,055

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2) 証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3) ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円) (注1)	科目	期末残高 (百万円) (注1)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料(注2)	19,975	未払手数料	3,400
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	1,052	未払費用	173
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	1,063	長期差入保証金	1,055

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

2. 親会社に関する注記

株式会社大和証券グループ本社（東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場）

（1株当たり情報）

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
1株当たり純資産額	15,760.66円	1株当たり純資産額	15,389.06円
1株当たり当期純利益	4,857.40円	1株当たり当期純利益	4,550.81円

(注1)潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注2)「会計方針の変更」に記載のとおり、当事業年度における会計方針の変更は遡及適用され、前事業年度については遡及適用後の財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前事業年度の1株当たり純資産額は184円26銭増加しております。

(注3)1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益(百万円)	12,670	11,870

普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525	2,608,525
-----------------	-----------	-----------

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4 【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行なうこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5 【その他】

a. 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

2020年4月1日付で、定款について次の変更を行なう予定です。

- ・ 商号の変更（大和アセットマネジメント株式会社に変更）

b. 訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実

訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

第2 【その他の関係法人の概況】

1 【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

名称 三井住友信託銀行株式会社

資本金の額 342,037百万円（2019年3月末日現在）

事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名称	資本金の額 単位：百万円 (2019年3月 末日現在)	事業の内容
四国アライアンス証券株式会社	3,000	(注)
株式会社阿波銀行	23,452	銀行法に基づき 銀行業を営んでいます。
株式会社伊予銀行	20,948	
株式会社四国銀行	25,000	
株式会社百十四銀行	37,322	

(注) 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

2 【関係業務の概要】

受託会社は、信託契約の受託者であり、委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分、信託財産の計算等を行いません。なお、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。

販売会社は、受益権の募集の取扱い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金・償還金・一部解約金の支払いに関する事務等を行いません。

3 【資本関係】

該当事項はありません。

<再信託受託会社の概要>

名称：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金の額：51,000百万円（2019年3月末日現在）

事業の内容：銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

再信託の目的：原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を原信託受託会社から再信託受託会社へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。

第3 【参考情報】

ファンドについては、当計算期間において以下の書類が関東財務局長に提出されております。

(提出年月日)	(書類名)
2019年7月3日	有価証券届出書、有価証券報告書

独立監査人の監査報告書

2019年5月24日

大和証券投資信託委託株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小倉 加奈子	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	間瀬 友未	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	深井 康治	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和証券投資信託委託株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第60期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和証券投資信託委託株式会社の2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注)2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2019年11月8日

大和証券投資信託委託株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 深井 康治 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 小林 英之 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている四国アライアンス 地域創生ファンド（年2回決算型）の2019年4月11日から2019年10月10日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、四国アライアンス 地域創生ファンド（年2回決算型）の2019年10月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。